

令和9年度（令和9年4月入学）・令和8年度（令和8年秋入学）  
 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 博士前期課程（修士課程）  
 社会人特別入試・外国人留学生特別入試学生募集要項

Master's Program Admission Guidebook for International Students  
 April Admission for the 2027 Academic Year / Fall Admissions for the 2026 Academic Year

学 域	専 攻	社会人特別入試			外国人留学生特別入試		
		4月入学	秋入学		4月入学	秋入学	
			第Ⅰ期	第Ⅱ期		第Ⅰ期	第Ⅱ期
応用生物学域	応用生物学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
物質・材料 科学域	材料創製化学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
	材料制御化学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
	物質合成化学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
	機能物質化学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
設計工学域	電子システム工学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
	情報工学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
	機械物理学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
	機械設計学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
デザイン 科学域	デザイン学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	建築学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
繊維学域	先端ファイブプロ科学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	若干名	—	若干名	若干名	—	若干名
出 願 期 間		4月入学 令和8年11月2日～11月10日 秋入学 第Ⅰ期：令和8年5月21日～5月27日 第Ⅱ期：令和8年7月13日～7月21日					
学 力 検 査 日		4月入学 令和8年12月5日(予備日：12月6日) 秋入学 第Ⅰ期：令和8年7月4日(予備日：7月5日) 第Ⅱ期：令和8年8月19・20日(予備日：8月22日・23日)					
		<small>※災害等により学力検査日に入学試験を実施できないと大学が判断した場合のみ、予備日に入学試験を延期することがあります。</small>					
合 格 発 表		4月入学 令和8年12月16日 秋入学 第Ⅰ期：令和8年7月15日 第Ⅱ期：令和8年9月2日					

重要 IMPORTANT NOTICE

試験室の場所の通知や、試験で使用する物品（PC・説明用資料・電卓等）を追加する際は、試験日の1週間程度前までにホームページに掲載しますので、各自でご確認ください。また、試験日まで何らかの不測の事態が生じた場合など、試験実施方法等を急きょ変更する場合も、速やかに本学ホームページにてお知らせしますので、定期的にご確認願います。

Any information regarding examination room location changes or additions to items to be used in the examination (e.g., PCs, explanatory materials, calculators), will be posted on the website at least one week before the exam date. Checking for information updates is the responsibility of the examinee. **Any information on sudden changes in testing will be promptly posted at the site below. Be sure to check it regularly.**

大学院入試最新情報: [https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)



---

**I** 社会人特別入試（4月入学・秋入学）  
Special Entrance Examination for Working Adults（April admission, Fall admissions）

---

1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願資格認定審査	2
4	出願手続	
	(1) 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間）	2
	(2) 書類提出方法	3
	(3) 希望指導教員への研究内容等の事前相談	3
	(4) 出願書類	3
5	検定料の支払	4
6	障害等のある人への受験上・修学上の配慮について	4
7	出願についての注意事項	5
8	選抜方法	5
9	アドミッションポリシー	6
10	学力検査日時及び検査方法	
	(1) 学力検査日時及び科目	
	① 4月入学	10
	② 秋入学（第Ⅰ期）	12
	③ 秋入学（第Ⅱ期）	12
	(2) 各入学試験における専攻ごとの注意事項	14
11	奨学金制度	15
12	大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育	15

---

**II** 外国人留学生特別入試（4月入学・秋入学）  
Special Entrance Examination for International Students（April Admission, Fall Admissions）

---

1	募集人員 Number of Students to be Admitted	16
2	出願資格 Eligibility	16
3	在留資格 Status of Residence	18
4	出願資格認定審査 Eligibility Screening	19
5	出願手続 Admissions Procedures	
	(1) 出願期間（インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間） Application Period（Internet Application Registration Period and Admissions Application Period）	19
	(2) 書類提出方法 Document Submission	20
	(3) 希望指導教員への研究内容等の事前相談 Prospective Supervisor Research Content Consultations	20
	(4) 出願書類 Application Documents	21
6	検定料の支払 Application Fee Payment	23
7	障害等のある人への受験上・修学上の配慮について Preliminary Consultations for Applicants with Special Needs	23
8	出願についての注意事項 Cautions Regarding the Application	24
9	選抜方法 Selection Method	24
10	アドミッションポリシー Admission Policy	26

11 学力検査日時及び検査方法 Examination Date and Type	
(1) 学力検査日時及び科目 Examination Schedule and Subjects	
① 2027年4月入学 April Admission for 2027.....	33
② 2026年秋入学（第Ⅰ期） Fall Admissions for 2026 (Term I).....	39
③ 2026年秋入学（第Ⅱ期） Fall Admissions for 2026 (Term II).....	39
(2) 各入学試験における専攻ごとの注意事項 Cautions for Each Master's Program .....	43
12 その他 Other .....	46

#### 共通事項 Information Common to all Programs

1 学力検査場所・受験についての注意事項 Examination Site and Precautions.....	47
2 合格発表 Announcement of Successful Applicants.....	49
3 入学手続 Enrollment Procedures .....	50
4 入学に要する経費 Admission Fees.....	50
5 入学料・授業料の免除等制度 Admission and Tuition Fee Exemption System .....	51
6 安全保障輸出管理 Important Communication about The Security Export Control in Japan.....	52

よくあるご質問 FAQ	53
-------------	----

問い合わせ先 Inquiries	55
------------------	----



社会人特別入試（4月入学・秋入学）

Special Entrance Examination for Working Adults（April admission, Fall admissions）

近年の科学技術の急速な進展に伴う社会的要請に応えるため、各種の研究機関、教育機関、企業等において職務経歴を有する社会人に対して、高度の研究能力の涵養や新しい学問分野についての知識、技術の修得の機会を提供することは、大学と社会の交流を深める上で極めて有意義であるとともに、大学にとっても教育研究機能の活性化を図る機縁となります。本研究科では、このような趣旨から、社会人に対して、一般の選抜方法とは異なる方法により入学者の選抜を実施しています。

この選抜により入学した人に対しては、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育を実施することがあります。詳細は 15 ページの 12 を参照してください。

1 募集人員

学 域	専 攻	募 集 人 員		
		4月入学	秋入学	
			第Ⅰ期	第Ⅱ期
応用生物学域	応用生物学専攻	若干名	—————	若干名
物質・材料 科学域	材料創製化学専攻	若干名	—————	若干名
	材料制御化学専攻	若干名	—————	若干名
	物質合成化学専攻	若干名	—————	若干名
	機能物質化学専攻	若干名	—————	若干名
設計工学域	電子システム工学専攻	若干名	—————	若干名
	情報工学専攻	若干名	—————	若干名
	機械物理学専攻	若干名	—————	若干名
	機械設計学専攻	若干名	—————	若干名
デザイン 科学域	デザイン学専攻	若干名	※若干名	※若干名
	建築学専攻	若干名	—————	若干名
繊維学域	先端ファイブロ科学専攻	若干名	—————	若干名
	バイオベースマテリアル学専攻	若干名	—————	若干名

※デザイン学専攻の秋入学（第Ⅰ期）では、修了方法「DDコース型」のみ募集する。

デザイン学専攻の秋入学（第Ⅱ期）では、「特定課題型」及び「論文型」のみ募集する。

《注》 入試の結果によっては、合格者がいない場合があります。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、大学卒業等の大学院博士前期課程（修士課程）への入学資格取得後（次の(9)により出願する場合は最終学校卒業後）各種の研究機関、教育機関、企業等において志望する専攻に関する職務経歴を令和 9 年 4 月 1 日（秋入学の場合は令和 8 年 10 月 1 日）現在で 1 年以上有する人としします。（大学または各種学校等在学中の職務経歴は含みません。）

- (1) 日本の大学を卒業した人
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された人
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した人
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した人
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに

限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された人《注1》

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)又は専攻科(当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程(学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。)における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人
- (8) 文部科学大臣の指定した人(文部省告示第5号)
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、令和9年3月(秋入学の場合は令和8年9月)までに22歳に達する人《注2、注3》

《注1》(6)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の確認を行いますので、次の期日までに学位授与(見込)証明書、学業成績証明書を入試課大学院入試係(innyushi@kit.ac.jp)まで電子メールにて送付してください。

4月入学 令和8年10月5日(月)

秋入学 第I期:令和8年4月20日(月)、 第II期:令和8年6月1日(月)

《注2》(9)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『3 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続を行ってください。

《注3》(9)の出願資格については、高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない人を対象とします。

### 3 出願資格認定審査

- (1) 『2 出願資格(9)』の資格で出願を希望される人は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

入学時期	入試区分	出願資格認定審査申請期限	出願資格認定審査結果通知
4月入学		令和8年10月5日(月)16時まで	令和8年10月30日(金)まで
秋入学	第I期	令和8年4月20日(月)16時まで	令和8年5月20日(水)まで
	第II期	令和8年6月1日(月)16時まで	令和8年7月10日(金)まで

《注》今年度を実施する入試において出願資格認定審査を申請し、本研究科での審査の結果、出願資格があると認められた人は、他の入試区分に出願する際、再度の申請は不要です。ただし、次年度以降に実施する入試に出願の際は、当該年度の資格審査が必要となるため、再度申請を行ってください。

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『4 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。

### 4 出願手続

- (1) 出願期間(インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間)

入学時期	入試区分	インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間
4月入学		令和8年11月2日(月)から令和8年11月10日(火)まで
秋入学	第I期	令和8年5月21日(木)から令和8年5月27日(水)まで
	第II期	令和8年7月13日(月)から令和8年7月21日(火)まで

上記の期間内に大学のインターネット出願システム(<https://www.postanet.jp/info/010050/>)にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に書類を提出してください。

(2) 書類提出方法

入試課へ持参して提出する場合 ≪入試課≫ 松ヶ崎キャンパス3号館1階	○土曜日・日曜日・祝日は受付していません。 ○受付時間は9時から12時まで及び13時から16時までです。
郵送で提出する場合 ≪郵送先≫ 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係	○それぞれの出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。 ○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角2封筒に貼り付けて必要書類を封入し、郵便局窓口から、必ず簡易書留・速達で郵送してください。

(3) 希望指導教員への研究内容等の事前相談

出願に当たっては、希望する研究内容などの不一致を防ぐため、自身が本学大学院で行いたい研究内容が、希望する研究室の教員が指導可能なものであるか、希望指導教員にあらかじめ連絡・相談してください。各教員の連絡先は大学院入試最新情報ページ（[https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)）の「教員一覧」をご覧ください。

事前の相談をせずに入学した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。また、事前の相談を行った場合でも、研究室配属の選考の結果、専攻によっては、希望の研究室に配属されない可能性があります。

なお、研究室の希望状況は入試の可否には一切関係ありません。

(4) 出願書類

・出願書類の右上に、入学願書印刷時に付番される「受験番号」を記載してから提出してください。

・下記欄で★印のある書類は、本学ホームページより様式をダウンロードしてください。

[https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin\\_m\\_yoko.html](https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_m_yoko.html)

(1) 入学願書	インターネット出願システム（ <a href="https://www.postanet.jp/info/010050/">https://www.postanet.jp/info/010050/</a> ）にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『5 検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。
(2) 学業成績証明書 【コピー不可】	出身大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。 《注》『2 出願資格(2)または(9)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の学長等が作成したものとし、高等専門学校または短期大学（以下「高等専門学校等」という）の専攻科出身の人は、高等専門学校等及び専攻科の両方を提出してください。
(3) 卒業証明書 【コピー不可】	出身大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。 《注》『2 出願資格(2)または(9)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の卒業（修了）証明書とし、『2 出願資格(2)』の場合は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与（申請受理）証明書も併せて提出してください。
(4) 職務経歴書★	必要事項を記載のうえ、提出してください。 職務上の業績を証明する資料（論文、作品、図面等）を添付してもかまいません。
(5) 研究計画書★	希望指導教員と相談のうえ提出してください。 デザイン学専攻に出願する人は、デザイン学専攻専用の様式で提出してください。
(6) 受験許可及び 就学承諾書★	研究機関、教育機関、企業等に在職のまま入学しようとする人は、勤務先の所属長が作成したものを提出してください。
(7) TOEIC個人用 公式認定証 (デジタル)	TOEIC Listening & Reading デジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたもの）を提出してください。 <u>公式認定証の原本は、原則として、受け付けられません。デジタル公式認定証が発行されない場合は、入試課大学院入試係（巻末問合せ先参照）に出願期間までにご相談ください。</u> なお、TOEICスコアの有効期限は、TOEIC受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、2年以内とします。 <u>また、カレッジTOEIC等の団体特別受験制度（IPテスト）では、スコアの公式認定証が発行されないので、同テストによるスコアは認めません。</u> ※条件を満たす人はTOEIC個人用公式認定証の提出が不要場合があります。 詳細は5ページの『8. 選抜方法』を確認してください。

- (8) 希望指導教員調査 ※該当の専攻のみ 建築学専攻に出願する人は、出願時にインターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にて希望指導教員名を記入いただきますので、紙媒体の提出は不要です。事前に下記リンクにて希望指導教員一覧や注意書きを確認してください。  
[https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/yoko/in/Mc\\_kenchiku2\\_kibosidokyoin.pdf](https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/yoko/in/Mc_kenchiku2_kibosidokyoin.pdf)

- (9) その他  
ア. 外国籍の方は、在留資格の確認をしますので、在留カードを提示またはコピーを提出してください。なお、在留資格を有していない場合は、パスポートを提示またはコピーを提出してください。  
イ. 授業料免除を希望する外国人留学生は、授業料免除申請書類を併せて提出してください (51 ページ参照)。  
ウ. 2 出願資格(3)または(4)の資格で出願する場合は、修学歴の確認のため、履歴書★を提出してください。

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

※出願書類に係る個人情報、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学科・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

## 5 検定料の支払

30,000円

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM (ペイジー) より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が不要または免除されることがあるため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

対象者	条件	必要書類等	検定料
国費外国人留学生	奨学金支給期間延長の申請予定者	国費外国人留学生であることを証明する書類	不要
大規模な風水害等により被害 (居住家屋の半壊等) を受けた人	風水害等の発生が出願期間前の概ね 1 年以内	別途指示します	全額免除の場合あり

## 6 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。なお、相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

### ① 相談の時期

原則として、出願期間開始日の 1 週間前まで。

### ② 相談の方法

本学ホームページ (<https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html>) を確認のうえ、申請書及びその他必要書類 (医師の診断書など) を提出してください。必要な場合は、本学において出願者の事情を説明できる人との面談等を行います。

### ③ 連絡先

卷末問合せ先 (大学院入試全般について) 参照

※なお、修学上の配慮については、事前にアクセシビリティ・コミュニケーション支援センターにご相談ください。

問い合わせ先: [csr@jim.kit.ac.jp](mailto:csr@jim.kit.ac.jp)

参考URL: [https://www.kit.ac.jp/edu\\_index/accessibility\\_ccs/](https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/)

## 7 出願についての注意事項

(1) 次の場合には、出願書類を受理しません。

- ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合
- ② 出願書類がそろっていない場合
- ③ 出願書類の記載が不完全な場合
- ④ 検定料が支払われていない場合

(2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

(3) 出願書類は原則返還しません。

また、支払済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

- ① 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願書類が受理されなかった）場合
- ② 検定料を誤って二重に支払った場合

※検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

(4) 出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることがあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

## 8 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。学力検査は、専攻ごとの指定のない限り、日本語で実施します。学力検査日時及び検査方法については10ページをご確認ください。

なお、次の条件を満たす人については、学力検査科目「外国語」を課さない場合があります。

- ・主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である。

上記に該当すると思われる方は、次の日時までに電子メールにて入試課大学院入試係にご相談願います。その際、原則として大学・学部において「主として英語による教育を受けた」ことを証明する書類が必要になります。

なお、他大学院の博士前期課程（修士課程）を英語により修了した場合であっても、「主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である」ことを示す証明書を提出してください。

- ・ 4月入学： 令和8年10月5日（月）
- ・ 秋入学 第Ⅰ期：令和8年4月20日（月）  
第Ⅱ期：令和8年6月1日（月）
- ・ 相談方法：電子メール（innyushi@kit.ac.jp）

## 9 アドミッションポリシー

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

### 応用生物学専攻

#### 人材育成の目標

バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会的の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

#### 求める能力と適性

ライフサイエンスに関連した専門的な知識、実験科学的な理解力、英文の読解や表現に優れた能力

### 材料創製化学専攻

#### 人材育成の目標

本専攻では、高分子物性工学、無機材料科学、材料物理化学、並びに光工学に関する十分な基礎知識をもち、高分子やセラミックスなどをベースにして高次構造化・機能化のアプローチにより実効性ある革新材料開発を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚、豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

本専攻の修了生は、電気製品、化学（プラスチック、有機、無機他）、繊維製品、ゴム製品、ガラス・セラミックス等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

#### 求める能力と適性

高分子材料やセラミック材料の専門領域に対して強い関心を示し、それらの材料を科学する心の知性と実現する意欲、ならびに特に、広い視野から問題発掘・解決できる能力

### 材料制御化学専攻

#### 人材育成の目標

高い機能を持つ材料を扱う研究技術者は、高分子、無機材料などの個々の特性についての知識に止まらず、機能の源となる基礎的な性質について深く理解していることが求められます。本専攻では、それらの知識と理解に基づき、社会に役立つ材料とは何かを考え、将来への見通しを持つ人材、さらに自らの技術力をグローバルに展開する国際性をもつ人材を育成します。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

#### 求める能力と適性

高分子物質、無機物質などの集合体による、材料のブレークスルーを実現することを志向しつつ、真に豊かな社会の発展を目指し、特に、広い視野から問題発掘・解決できる能力

### 物質合成化学専攻

#### 人材育成の目標

本専攻では、有機、無機、高分子化合物、各種ハイブリッドの合成化学、精密分子設計、触媒反応化学、界面材料化学、ならびにヘテロ元素化学に関する十分な基礎知識をもち、精密合成を基盤にボトムアップのアプローチで、医薬品、農薬、発光材料、液晶分子、界面活性物質、繊維改質剤、光反応性触媒など、革新的な物質や材料の創成を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として、人間的に広く深い素養と自覚、ならびに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。本専攻の修了生は、化学（有機、プラスチック、油脂他）、医薬品、繊維製品分野などの企業において、化学製品や機能材料の創製に軸足を置いた研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

#### 求める能力と適性

化学を基礎とした材料開発に強い関心と情熱を有し、環境との調和を考えながら、原子・分子レベルでの物質創成

を通して、研究能力の向上、並びに専門知識の深化を目指す能力

### 機能物質化学専攻

#### 人材育成の目標

本専攻では、生体関連化学、生物化学、物理・分析化学、分子構造化学、高分子化学及び化学工学に関して十分な基礎知識をもち、生物の機能や構造を再現・応用することによって、新しい物質や材料を創成するとともに、化学の視点を軸として分子レベルで物質の機能を捉え、構造を探り、その活用を促進できる応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、他専攻の講義履修や研究交流を通じながら、広い視野で材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚並びに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

#### 求める能力と適性

生命科学と化学の学際領域を担う機能性物質の構造と機能に関する強い興味と関心、研究遂行する上で不可欠な基礎知識、英語の理解力、特に、機能分子の創成と応用研究に関する問題解決能力

### 電子システム工学専攻

#### 人材育成の目標

数学、物理学、電気電子系専門科目の十分な基礎知識を有し、再生可能エネルギー、ナノテクノロジー、新材料、エレクトロニクス、情報通信、画像処理に関する基盤技術を修得するとともに、高度な専門知識に基づいて、物理学、化学、医学との境界領域分野の開拓を先導できる能力、新しい技術を社会実装できる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

#### 求める能力と適性

修学及び研究活動に必要な英語力、基礎学力、希望研究分野に関連した専門基礎知識、研究意欲

### 情報工学専攻

#### 人材育成の目標

あらゆる産業基盤を支えているICTについての高度な知識と技能を身に付け、情報機器製造業をはじめとする様々な製造業において、またICTを活用したサービス事業を展開する企業において、さらにはICTに関連した様々な企業および教育・研究機関において、リーダーシップを持ちつつ自発的かつ国際的に研究・開発を行い、人間中心型の豊かな情報社会の構築を先導する研究技術者の育成です。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

#### 求める能力と適性

情報工学に関する基本的な知識や数理的な解析能力、及び研究活動に必要な英語能力を有し、高度情報技術者として研究・開発を率先して担っていく意欲のある人

### 機械物理学専攻

#### 人材育成の目標

機械物理学専攻は、機械工学の根幹をなす力学分野を中心に、様々な物理現象を理解するための理論的、実験的および数値的解析手法を身に付け、実際の工学的問題に応用する能力を有し、国際的に活躍できる「探究的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

#### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

#### 求める能力と適性

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

## 機械設計学専攻

### 人材育成の目標

機械設計学専攻は、機械工学のみならず幅広い先端テクノロジーに精通し、これらの工学的知識を横断的に駆使することによりイノベーションをデザインする能力を有し、国際的に活躍できる「実践的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

### 選抜の方針・ポリシー

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

### 求める能力と適性

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

## デザイン学専攻

### 人材育成の目標

本専攻では、モノづくりに関わる専門的な社会実装能力を身につけ、異分野の専門家との混合チームの中でデザイナーやエンジニア、またマネージャーとして力を発揮でき、アイデアを実現するためのプレゼンテーション能力と英語でのコミュニケーション能力を身につけ、また、キュレーション分野においては、美術、デザイン、建築などの作品や作者についての基本的な知識を習得し、それを踏まえて作品の分析と文献の解読による理論構築をするとともに、対象の「価値」を「キュレーション」（「企画」「編集」「ディレクション」「展示」「発信」）という形式でも示しうる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

さらに、連携外国大学（ロンドン芸術大学）とのダブルディグリーコース（DDコース型）では、デザイン分野での国際連携プロジェクトなども行える人材の育成も目指しています。

### 選抜の方針・ポリシー

研究計画や専門知識に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

### 求める能力と適性

デザイン、マネジメント、テクノロジー、キュレーションに関する基本的な知識と制作スキル、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

表現・造形の基本形をマスターしたデザイン系学科、建築系学科の大学の卒業生や、経営系学科、生活科学系学科、エンジニアリング系学科の卒業生、及びそれらと同等の学力を有するモノ・空間・サービス等のデザインやキュレーションに関心のある他学科の卒業生を選抜の対象とします。

### ※修了方法について

本専攻には、修了審査に論文を提出する論文型と、デザインの実制作の成果を提出する特定課題型、また、共同プロジェクトやデザイン課題の成果を提出する連携外国大学（ロンドン芸術大学）とのダブルディグリーコース（DDコース型）の3種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。なお、DDコース型は2年後の9月に修了します。4月入学の場合は修了まで2年半在籍することになります。

## 建築学専攻

### 人材育成の目標

本専攻では、国際的な競争力を有した都市・建築の計画立案、設計、総合的マネジメントの能力を有し、歴史や環境、地域に根ざした都市・建築の保存・修復・再生に関する構想力と、総合的マネジメント能力を身に付け、さらに、デザインやまちづくりの合意形成や研究内容の社会化を意識した、高い説明能力を有している人材の育成を目指しています。

### 選抜の方針・ポリシー

持参作品もしくは研究計画等についての口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

### 求める能力と適性

建築学に関する基礎的な学力と建築設計能力、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

特に京都という地において都市・建築を学ぶことに意識的な人材、歴史と場所性に寄り添う思考態度を持つ人材、地球規模で都市・建築とそのデザインを考える発想力と創造意欲を有する人材を求めます。

### ※修了方法について

本専攻には、修了審査に修士論文を提出する論文型と、修了作品を提出する特定課題型の2種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。

## 先端ファイブ科学専攻

### 人材育成の目標

繊維や繊維製品に関連する科学技術と工学、およびヒトへの応用を学ぶことにより、ヒトと環境に優しいものづくりができ、かつ未知のものに向かって自らの考えでアプローチができる応用力を身につけた人材を育成します。加えて、新しい機能性繊維の開発や、繊維製品の設計・評価・リサイクル、さらにはヒトの生体情報や日本の伝統技術の理解といった先端の専門研究を自らが主体的に実践することにより、高度な専門的技術や知識を備えた人材を育成します。

### 選抜の方針・ポリシー

知識の習得意欲ならびに課題解決に対する積極性を求める。英語による筆記試験、これまで学んできた専門知識に関する口述試験の評価により、能力・適性を判定します。

### 求める能力と適性

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力

## バイオベースマテリアル学専攻

### 人材育成の目標

バイオベースマテリアル学専攻は、人類が直面する地球環境問題の解決と理想的な未来社会を実現しようとする気概を持ち、高度に分化・専門化した現代の科学技術の基礎を横断的かつ国際的に理解し、その課題解決のために協働できる人材を育成します。その目的達成のためには、植物バイオマスからの原料開拓とそれをを用いた高分子材料の合成、高分子材料の物性や微細構造の解析および成形加工などバイオベースマテリアルに関する研究開発が不可欠であり、これらの分野を理解できる人材を育成します。

### 選抜の方針・ポリシー

知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。口述試験及び英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

### 求める能力と適性

環境問題への関心と解決意欲を備え、科学に対する興味が高く、研究成果の社会に対する貢献心を持っていること。

10 学力検査日時及び検査方法

(1) 学力検査日時及び科目

① 4月入学

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00~	100	応用生物学について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
材料創製化学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
電子システム工学 専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	専門科目 10:00~10:45(45分)	100	電磁気学、電気回路、電子回路の3題から1題を選択
		口述 試験	13:30~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
情報工学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30~	300	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。

(次ページへ続く)

4月入学

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
機械物理学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。
機械設計学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。
デザイン学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00～	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。試験は、英語で行う場合がある。
建築学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00～	300	持参作品もしくは研究計画について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
先端ファイブ 科学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00～	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	令和8年 12月5日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00～	200	オンライン形式で実施する(1人30分程度)。志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。また、提出された研究計画書の内容について5分間程度口頭で説明を求め、それに関連する質問をする。 なお、口述試験接続テスト(本専攻と各受験者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認※5分程度)を、下記のいずれかの日時に実施する。 令和8年11月30日(月) 12:00～14:00、 令和8年12月1日(火) 12:00～14:00

② 秋入学（第Ⅰ期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
デザイン学専攻 (DDコース型)	令和8年 7月4日(土)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00～	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。試験は、英語で行う場合がある。
		(注) 本試験は、DDコース型のみを対象としたものです。			

③ 秋入学（第Ⅱ期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
応用生物学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:00～	100	応用生物学について実施する。
材料創製化学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
材料制御化学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
物質合成化学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
機能物質化学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	10:00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。
電子システム工学 専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記 試験	専門科目 10:00～10:45(45分)	100	電磁気学、電気回路、電子回路の3題から1題を選択
		口述 試験	13:30～	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
情報工学専攻	令和8年 8月20日(木)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述 試験	13:30～	300	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。

(次ページへ続く)

秋入学（第Ⅱ期）

専攻	学力検査日	区分	学力検査科目・時間	配点	内 容
機械物理学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	専門科目 13:00~14:30(90分)	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各1題(計4題)のうちから2題を選択。
機械設計学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		筆記試験	専門科目 13:00~14:30(90分)	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各1題(計4題)のうちから2題を選択。
デザイン学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13:00~	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。試験は、英語で行う場合がある。
(注) 本試験は、特定課題型及び論文型のみを対象としたものです。					
建築学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13:00~	300	研究計画書または、持参作品について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
先端ファイブプロ科学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	13:00~	200	研究分野に関連した科目についての専門的学力、研究計画書及び職務経歴書等について実施する。また、外国人については、日本語による試問を含む。
バイオベース マテリアル学専攻	令和8年 8月19日(水)		外国語 (筆記試験は実施しない)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。
		口述試験	10:00~	200	オンライン形式で実施する(1人30分程度)。志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。また、提出された研究計画書の内容について5分間程度口頭で説明を求め、それに関連する質問をする。 なお、口述試験接続テスト(本専攻と各受験者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認※5分程度)を、下記のいずれかの日時に実施する。 令和8年8月6日(木) 12:00~14:00、 令和8年8月7日(金) 12:00~14:00、

(2)各入学試験における専攻ごとの注意事項

4月入学

■電子システム工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

■情報工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

■デザイン学専攻

口述試験：A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

■建築学専攻

口述試験：論文型において研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し、そのうち1部は提出してください。

特定課題型においては、建築設計作品のうち代表的な2点程度を説明できるポートフォリオ（図面、写真等、サイズはA3程度）を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参して、そのうち1部は提出してください。研究計画を説明する場合は、それに必要な資料も面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し、そのうち1部は提出してください。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

■先端ファイブ科学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

■バイオベースマテリアル学専攻

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ（<https://www.biobased.kit.ac.jp/>）に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して口述試験接続テスト3日前までに登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075-724-7162 e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の15分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から20分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

秋入学（第Ⅰ期）

■デザイン学専攻

口述試験：A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

秋入学（第Ⅱ期）

■電子システム工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

■情報工学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

■デザイン学専攻

口述試験：A3用紙の大きさを3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

■建築学専攻

口述試験：論文型において研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し、そのうち1部は提出してください。

特定課題型においては、建築設計作品のうち代表的な2点程度を説明できるポートフォリオ（図面、写真等、サイズはA3程度）を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参して、そのうち1部は提出してください。研究計画を説明

する場合は、それに必要な資料も「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し、そのうち1部は提出してください。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

■先端ファイブ科学専攻

口述試験：職務経歴、業績等の説明資料の持ち込みを許可します。

■バイオベースマテリアル学専攻

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ（<https://www.biobased.kit.ac.jp/>）に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して口述試験接続テスト3日前までに出願時に登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも可否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075-724-7162  
e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の15分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から20分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

## 11 奨学金制度

### (1) 日本学生支援機構奨学金

学業、人物ともに優秀で経済的理由のため修学が困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、独立行政法人日本学生支援機構より奨学金の貸与を受けることができます（外国人留学生を除く）。奨学金の種類には、第一種（無利子）と第二種（有利子）があります。

<返還免除制度>

日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた者であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または一部の返還が免除される制度があります。また、博士前期課程（修士課程）の入学前に返還免除が内定（決定は貸与終了時）する制度があります。（秋入学者は除く）

### (2) 授業料後払い制度

大学院の修士段階（博士前期課程）の授業料について、要件を満たす学生を対象に国が授業料を立て替え、返還は修了後の所得に応じて「後払い」とする制度です。あわせて、生活費奨学金の貸与を受けることもできます。

### (3) 地方公共団体及び民間育英団体の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。願い出により選考のうえ、奨学金の貸与または給付を受けることができます。

## 12 大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例による教育

本学では、社会人学生に対しては大学院設置基準第14条に基づき、京都工芸繊維大学大学院学則第20条の2において「教育上特別の必要があると認める場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことがある。」旨を定めています。この制度の活用を希望する出願予定者は、出願期間の1ヶ月前までに、学務課大学院教務係まで連絡・相談してください。（e-mail: edu-1@kit.ac.jp）



1 募集人員 Number of Students to be Admitted

学域 Academic Field	専攻 Master's programs	募集人員 Number of Students to be Admitted		
		2027年4月入学 April Admission for 2027	2026年秋入学 Fall Admissions for 2026	
			Term I	Term II
応用生物学域 Applied Biology	応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
	材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
物質・材料科学域 Materials Science	材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
	物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
	機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
	電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
設計工学域 Engineering Design	情報工学専攻 Master's Program of Information Science	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
	機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
	機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
	デザイン学専攻 Master's Program of Design	若干名 A few persons	※若干名 A few persons*	※若干名 A few persons*
デザイン科学域 Design	建築学専攻 Master's Program of Architecture	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
	先端ファイブプロ科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons
繊維学域 Fiber Science and Engineering	バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science	若干名 A few persons	—	若干名 A few persons

※デザイン学専攻の秋入学（第Ⅰ期）では、修了方法「DDコース型」のみ募集する。

デザイン学専攻の秋入学（第Ⅱ期）では、「特定課題型」及び「論文型」のみ募集する。

\*The call for Master's Program of Design, Fall admission applications (Term I) is for "DD course" applications **only**.  
The call for Master's Program of Design, Fall admission applications (Term II) is for "Specific topic" and "Thesis" applications **only**.

《注》 Note:

- ・入試の結果によっては、合格者がいない場合があります。  
The success of applicants depends on examination results. There may be no successful applicants.
- ・募集要項の記載内容は、日本語版が優先となります。  
The official version of the information provided here is the Japanese-language version.

2 出願資格 Eligibility

日本国籍を有しない人で、修学に必要な程度の日本語の能力を有し、次の各号のいずれかに該当する人

Non-Japanese whose Japanese language proficiency will enable them to cope with Japanese coursework and are described by at least one of the following are eligible to apply.

- (1) 日本の大学を卒業した人及び 2027 年 3 月（秋入学の場合は 2026 年 9 月）までに卒業見込みの人  
Those who have graduated from Japanese university or are expected to graduate by March 2027 (September 2026 for fall admissions)
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された人及び 2027 年 3 月（秋入学の場合は 2026 年 9 月）までに授与される見込みの人  
Those who have received a bachelor's degree or are expected to receive one from the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education (NIAD-QE), by March 2027 (September 2026 for fall admissions).
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した人及び 2027 年 3 月（秋入学の場合は 2026 年 9 月）までに修了見込みの人  
Those who have completed the entire 16-year curriculum of the school educational system in overseas schools or those who are expected to complete it by March 2027 (September 2026 for fall admissions).
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した人及び 2027 年 3 月（秋入学の場合は 2026 年 9 月）までに修了見込みの人  
Those who have completed class subjects in Japan through distance learning programs conducted by overseas schools, completing the entire 16-year curriculum of the school educational system in the country concerned or who are expected to complete it by March 2027 (September 2026 for fall admissions).
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した人及び 2027 年 3 月（秋入学の場合は 2026 年 9 月）までに修了見込みの人  
Those who have completed or are expected to complete by March 2027 (September 2026 for fall admissions) courses at educational institutions abroad (limited to those who have completed the entire 16-year curriculum of the school educational system in the country concerned). Those educational institutions must be ones that are regarded in Japan to have university courses in the educational system of their countries and courses specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT).
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された人及び 2027 年 3 月（秋入学の場合は 2026 年 9 月）までに授与される見込みの人《注 1》  
Those who have completed a course with a duration of study of 3 years or more (including completion of said course through distance learning education offered by overseas schools in Japan or completion of a course at an educational institution designated in the school education system of said foreign country and designated as per preceding paragraph) at an overseas university or other overseas school (limited to those that have been evaluated by a person certified by the relevant foreign government or relevant organization for the overall status of education and research activities, or those designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as equivalent thereto) and who have been awarded a degree equivalent to a bachelor's degree, or who are expected to be awarded such a degree by March 2027 (September 2026 for fall admissions).<sup>Note 1</sup>
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第 125 条の 2 第 1 項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人  
Those who have completed, on or after the date designated by the MEXT Minister, either  
(a) a post-secondary course at a specialized training college designated by the MEXT Minister (limited to programs of four years or more in duration, and otherwise meeting the criteria established by the MEXT Minister); or  
(b) a graduate course at a specialized training college (limited to those with a curriculum designed to ensure continuity with a specified specialized course at the same institution as defined in Article 125-2, paragraph (1) of the School Education Act, and otherwise meeting the criteria established by the MEXT Minister).
- (8) 文部科学大臣の指定した人（文部省告示第 5 号）  
Those who are designated by the MEXT Minister (under Public Notice of the Ministry of Education No. 5).

- (9) 大学教育修了までの学校教育の課程が 16 年に満たない国において大学教育を修了した人で、次の a)及び b)の要件を満たし、かつ、本研究科において大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人《注 2》

Those who have completed a university education in a country where the completion of a university education is less than 16 years, provided that they fulfill the requirements in items a) and b) below, and who are also acknowledged by the KIT Graduate School to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a university graduate. <sup>Note 2</sup>

- a) 大学教育修了後、日本国内または国外の大学もしくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として 1 年以上研究に従事した人及び 2027 年 3 月（秋入学の場合は 2026 年 9 月）までに 1 年以上研究に従事する見込みの人

Those who have engaged or will have engaged in research after completing a university education for at least one year by March 2027 (September 2026 for fall admissions) as a research student or researcher at a domestic or overseas university, or at Inter-University Research Institute Corporations.

- b) 2027 年 3 月（秋入学の場合は 2026 年 9 月）までに 22 歳に達する人

Those who will be at least 22 years of age by March 2027 (September 2026 for fall admissions).

- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、2027 年 3 月（秋入学の場合は 2026 年 9 月）までに 22 歳に達する人《注 2、注 3》

Those who are acknowledged by the KIT Graduate School to have achieved an academic level equivalent or superior to that of a university graduate, as proven by individual screening for entrance eligibility, and will be at least 22 years of age by March 2027 (September 2026 for fall admissions). <sup>Note 2, Note 3</sup>

《注 1》(6)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の確認を行いますので、次の期日までに学位授与（見込）証明書、学業成績証明書を入試課大学院入試係(innyushi@kit.ac.jp)まで電子メールにて送付してください。

4 月入学：2026 年 10 月 5 日（月）

秋入学（第 I 期）：2026 年 4 月 20 日（月）

（第 II 期）：2026 年 6 月 1 日（月）

確認終了後、結果を電子メールにてお知らせします。

Note 1: If you are applying under (6), an eligibility check will take place prior to your application. Send a certificate of degree conferred (or anticipated completion certificate) and university transcript by e-mail to the Admissions Office, Graduate Admissions (innyushi@kit.ac.jp) by the following dates.

April admission: October 5, 2026 (Mon),

Fall admissions (Term I): April 20, 2026 (Mon)

(Term II): June 1, 2026 (Mon)

You will be notified of the result by e-mail after confirmation.

《注 2》(9)または(10)の資格で出願する場合は、出願前に出願資格の認定審査を行いますので、『4 出願資格認定審査』に基づき審査の申請手続を行ってください。

Note 2: For those applying under items (9) or (10) above, eligibility screening will be undertaken to verify eligibility prior to admission application; therefore, follow the “4 Eligibility Screening” section below, to complete the form for screening.

《注 3》(10)の出願資格については、高等専門学校・短期大学の卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない人を対象とします。

Note 3: Item (10) is for those without university graduation documentation such as those who graduated from “Kosen” (Colleges of Technology), junior colleges, special technical schools, international schools or any other type of schools.

※出願資格について不明な人は、2026 年 9 月上旬（秋入学の場合は 2026 年 3 月上旬）までに入試課大学院入試係において確認してください。

Anyone unclear about his/her admission eligibility should contact the Graduate Admissions Office by early September 2026 (early March 2026 for fall admissions).

### 3 在留資格 Status of Residence

入学時までに次のいずれかの在留資格を有していることが必要です。

Incoming students must have one of the following residence statuses at the time of enrollment.

- ① 出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）別表第 1 に定める「留学」

“Student” as prescribed in Annex No. 1 of Immigration Control and Refugee Recognition Act (Cabinet Order No. 319 of 1951)

- ② 上記の「留学」以外の在留資格で、「留学」に変更することが可能な在留資格または変更を要しない在留資格

A residence status other than “Student” that can be changed to a “Student” status or a residence status that does not

require changing

#### 4 出願資格認定審査 Eligibility Screening

- (1) 『2 出願資格 (9)または(10)の資格で出願を希望される人』は、以下に記載の「出願資格認定審査申請期限」までに申請書類の提出が必要となりますので入試課大学院入試係へ問い合わせてください。

Those who are wishing to apply under the items (9) or (10) in “2 Eligibility” above must submit the application forms by the following Eligibility Screening Application Deadline. Contact the Graduate Admissions Office for more information.

入試区分 Type of Exam	出願資格認定審査申請期限 Eligibility Screening Application Deadline	出願資格認定審査結果通知 Eligibility Screening Application Results Notification
4月入学 April Admission	2026年10月5日(月)16時まで 4:00 pm, 5 October 2026 (Mon)	2026年10月30日(金)まで 30 October, 2026 (Fri)
秋入学 Fall Admissions	Term I 2026年4月20日(月)16時まで 4:00 pm, 20 April 2026 (Mon)	2026年5月20日(水)まで 20 May, 2026 (Wed)
	Term II 2026年6月1日(月)16時まで 4:00 pm, 1 June 2026 (Mon)	2026年7月10日(金)まで 10 July, 2026 (Fri)

【注】今年度を実施する入試において出願資格認定審査を申請し、本研究科での審査の結果、出願資格があると認められた人は、他の入試区分に出願する際、再度の申請は不要です。ただし、次年度以降に実施する入試に出願の際は、当該年度の資格審査が必要となるため、再度申請を行ってください。

Those who have applied for eligibility screening for the entrance examination conducted this year and, as a result of the screening at the graduate school, are found to be eligible for application, do not need to reapply when applying for another exam classification. However, when applying for an entrance examination that will be conducted after the following year, a new eligibility screening application will be required for that year.

- (2) 審査の結果、出願資格を有すると認定された人は、改めて『5 出願手続』に基づき、出願手続を行ってください。  
Those who are deemed to be eligible though the screening process must follow the procedures in “5 Admissions Procedures”.

#### 5 出願手続 Admissions Procedures

- (1) 出願期間 (インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間)

Application Period (Internet Application Registration Period and Admissions Application Period)

入試区分 Type of Exam	インターネット出願システム入力期間及び書類提出期間 Internet Application Registration Period and Admissions Application Period
4月入学 April Admission	2026年11月2日(月)から2026年11月10日(火)まで 2 November 2026 (Mon) to 10 November 2026 (Tue)
秋入学 Fall Admissions	Term I 2026年5月21日(木)から2026年5月27日(水)まで 21 May 2026 (Thu) to 27 May 2026 (Wed)
	Term II 2026年7月13日(月)から2026年7月21日(火)まで 13 July 2026 (Mon) to 21 July 2026 (Tue)

上記の期間内に本学のインターネット出願システム (<https://www.postanet.jp/info/010050/>) にアクセスし、志願者情報の入力及び検定料支払手続を行い、印刷のうえ出願書類を提出してください。

※インターネット出願システムへの入力のみでは出願手続は完了しません。必ず期間内に書類を提出してください。

※海外から直接出願しようとする人は、出願期間の1カ月前までに入試課大学院入試係及び希望指導教員に問い合わせてください。教員一覧(研究内容等)は、本学のホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) に掲載しています。

Within the relevant period above, applicants must access KIT’s internet application system (<https://www.postanet.jp/info/010050/>), enter applicant’s information, complete payment procedures, print out and submit the application documents.

**Note that application procedures are not complete until applicants submit documents within the relevant application period.**

Anyone applying directly from overseas should contact the office below and consult a prospective supervisor of the target program at least one month prior to the application period. For a list of academic staff and their research content, refer to the KIT admission information webpage ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)).

(2) 出願書類提出方法 Document Submission

<p>入試課へ持参して提出する場合</p> <p>To submit applications/documents to the Admissions Office in person, go to:</p> <p>《入試課》 松ヶ崎キャンパス 3号館 1階</p> <p>《Admissions Office》 1<sup>st</sup> floor, Building No. 3, Matsugasaki Campus</p>	<p>Be aware that:</p> <p>○土曜日・日曜日・祝日は受付しておりません。 The office is closed on Saturdays, Sundays and national holidays.</p> <p>○受付時間は9時から12時まで及び13時から16時までです。 Applications are accepted between 9:00 am and 12:00 pm and between 1:00 pm and 4:00 pm.</p>
<p>郵送で提出する場合</p> <p>To submit applications/documents by post, address them to:</p> <p>《郵送先》 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学 入試課大学院入試係</p> <p>Mailing address: Kyoto Institute of Technology Admissions Office, Graduate Admissions 1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 JAPAN</p> <p>※海外から直接出願する人は、出願書類の未着等のトラブルを防ぐため、書類郵送前にメール(<a href="mailto:innyushi@kit.ac.jp">innyushi@kit.ac.jp</a>)で連絡してください。詳細は、53ページの「よくあるご質問」をご参照ください。</p> <p>Note: Persons applying directly from overseas should contact us by email (<a href="mailto:innyushi@kit.ac.jp">innyushi@kit.ac.jp</a>) <b>in advance</b>, to avoid any delivery problems. For more information, see page 53 “FAQ.”</p>	<p>Be aware that:</p> <p>○それぞれの出願期間最終日までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。 Application envelopes must be postmarked (in Japan) no later than the final day of the respective application period.</p> <p>○インターネット出願システムにて所定の事項の入力及び検定料支払手続完了後、宛名ラベル（大学送付用）をダウンロードし、市販の角2封筒に貼り付けて必要書類を封入し、郵便局窓口から、必ず簡易書留・速達で郵送してください。 After filling in the required items and completing the application fee payment procedure online using the Internet application system, download the address label (for sending the application package to the university) and attach it to a commercially available A4-sized envelope, enclosing the required documents without folding them. Be sure to send them from a post office counter using registered mail with express delivery.</p>

(3) 希望指導教員への研究内容等の事前相談 Prospective Supervisor Research Content Consultations

本特別入試出願される人は、出願前に、必ず、希望指導教員と連絡をとり、自身が本学大学院で行いたい研究内容が、希望する研究室の教員が指導可能なものであるか、確認してください。

各教員の連絡先は大学院入試最新情報ページ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php))の「教員一覧」をご覧ください。

事前の相談をせずに入学した場合、希望の研究室に配属されない可能性があります。また、事前の相談を行った場合でも、研究室配属の選考の結果、専攻によっては、希望の研究室に配属されない可能性があります。

なお、研究室の希望状況は入試の可否には一切関係ありません。

Prior to applying, applicants must contact a prospective supervisor of the lab they wish to join, to confirm that their specific research plan is something the prospective supervisor can supervise. The contact information for each professor can be found in the List of Academic Staff and Research Content section of the latest graduate school admissions page at [https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php). Refer to “FAQ Q1 Instructions” on page 53.

If you apply to the program without first discussing the research you intend to pursue with your proposed supervising professor, you may find you are assigned to the laboratory of a different supervising professor. Additionally, be aware that even if you have consulted your prospective supervising professor in advance, depending on research laboratory selection process outcomes, there is a possibility that you may not be assigned to your first choice of research

laboratories. Note that your research laboratory preference will not affect the KIT admissions decision.

(4) 出願書類 Application Documents

- ・ 出願書類の右上に、入学願書印刷時に付番される「受験番号」を記載してから提出してください。  
Before submitting documents, write your “Examinee Number” at the top right corner of each application documents. “Examinee Number” is the number you were assigned when you printed out your application form from the Internet application system.

- ・ 下記欄で★印のある書類は、本学ホームページより様式をダウンロードしてください。

Download forms (at the link shown here ↓) for the document marked with a ★ in the sections below.

[https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin\\_m\\_yoko.html](https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/daigakuin_m_yoko.html)

(1) 入学願書 Admission application form:

インターネット出願システム(<https://www.postanet.jp/info/010050/>)にて所定の事項を入力し、出願者の写真をインターネット出願システムにアップロードしてください。その後、検定料の支払手続（『6 検定料の支払』参照）を行い、入学願書を印刷、提出してください。

Applicants must register the necessary items and upload their ID photo to the internet application system (<https://www.postanet.jp/info/010050/>). Applicants must complete payment procedures (refer to “6 Application Fee Payment”), print out the admission application form and submit it.

(2) 学業成績証明書 Official academic transcripts: 【コピー不可 Copies are unacceptable】

在籍または出身大学の学業成績証明書を提出してください。

《注》『2 出願資格(2)または(10)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の学校長等が作成したものとし、高等専門学校または短期大学（以下「高等専門学校等」という）の専攻科に在籍中または出身の人は、高等専門学校等及び専攻科の両方を提出してください。

Submit Official academic transcripts from the college or university previously or currently attended. <sup>Note</sup>

Note: The official academic transcripts of those who are applying under items (2) or (10) in “2 Eligibility,” must be approved by the principal of the last school the applicant attended. Those who are enrolled in or have graduated from an advanced course at a “Kosen” (Colleges of Technology) or a Junior College (hereinafter collectively referred to as “Colleges of Technology”), must submit both the official transcripts of the Colleges of Technology and of the subsequent advanced course.

(3) 卒業（見込）証明書 Graduation certificate (or certificate of expected graduation):

【コピー不可 Copies are unacceptable】

在籍大学の卒業見込証明書または出身大学の卒業証明書を提出してください。

《注》『2 出願資格(2)または(10)』の資格で出願する場合は、最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書とし、『2 出願資格(2)』の場合は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与（申請受理）証明書または最終学校の学校長等が証明した学位授与申請予定証明書も併せて提出してください。

Graduation certificate or certificate of expected graduation from the college or university previously or currently attended.

Note: For those applying under items (2) or (10) in “2 Eligibility,” the submitted certificate must be the graduation (completion) certificate or certificate of expected graduation of the last school the applicant attended; however, those applying under item (2) in “2 Eligibility” must also submit a degree certification (application acceptance) issued by the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education (NIAD-QE) or a certificate signed by the principal of the last school the applicant attended, confirming that the application for degree conferment is in progress.

(4) TOEIC デジタル公式認定証 Digital Official Score Certificate:

TOEIC Listening & Reading デジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたものを）を提出してください。

公式認定証の原本は、原則として、受け付けられません。デジタル公式認定証が発行されない場合は、入試課大学院入試係（巻末問合せ先参照）に出願期間までにご相談ください。

なお、TOEIC スコアの有効期限は、TOEIC 受験日（公式認定証に明記されている年月日）が、出願期間の最終日から遡って、2年以内とします。また、カレッジ TOEIC 等の団体特別受験制度（IP テスト）では、スコアの公式認定証が発行されないため、同テストによるスコアは認めません。

※条件を満たす人は TOEIC 個人用公式認定証の提出が不要な場合があります。詳細は 24 ページの

『9. 選抜方法』を確認してください。

Applicants must submit their Digital Official Score Certificate (printout).

Original (paper) official score certificates can NOT be accepted. If applicants whose digital official score certificate cannot be issued, please consult with the Graduate Admissions Office (see contact information at the end of this document) prior to the application period.

The Official TOEIC score must be from a test taken within two years of the final day of the admission application period. Note that Institutional Program (IP) TOEIC scores are not accepted.

Note: Applicants who meet the following conditions, may not need to submit a TOEIC Official Score Certificate. For more details, refer to section “9. Selection method” on page 24.

---

(5) ★研究計画書 Research proposal:

希望指導教員と相談のうえ提出してください。デザイン学専攻及び建築学専攻に出願する人は各専攻の研究計画書で提出してください。

Consult your prospective supervisor (the KIT professor of the lab you propose to join) and submit your proposal. Those who are applying for the Master’s Program of Design and the Master’s Program of Architecture must submit a research proposal using the respective designated formats.

---

(6) 希望指導教員調査 Questionnaire for your prospective supervisor ※該当の専攻のみ Applicable Programs only

建築学専攻に出願する人は、出願時にインターネット出願システムにて希望指導教員名を記入いただきますので、紙媒体の提出は不要です。事前に下記のリンクにて希望指導教員一覧や注意書きを確認してください。

Applicants to the Master's Program of Architecture required to enter the name of prospective supervisor via the Internet application system at the time of application, so there is no need to submit a paper form. Please check the list of prospective supervisor and notes at the link below in advance.

[https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/yoko/in/Mc\\_kenchiku3\\_kibosidokyoin.pdf](https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/yoko/in/Mc_kenchiku3_kibosidokyoin.pdf)

---

(7) ★口述試験資料 Oral exam documents ※該当の専攻のみ Applicable Programs only

バイオベースマテリアル学専攻に出願する人は、下記の2つの課題について指定様式を用いて1,000字程度ずつ記述してください。

1. 卒業研究(行っていない場合はこれまでの修学内容)について
2. バイオベースマテリアル学専攻における関心の高い研究について

\*作成にあたっての留意事項

図表を含めても良い。

Department of Biobased Materials Science applicants are required to describe the following two topics, using the designated form, in approximately 1000 Japanese words each.

1. Your undergraduate research (or your previous academic work, if you have not conducted undergraduate research)
2. A research topic of high interest to you within the Department of Biobased Materials Science

\*Notes for preparation: Figures and tables may be included.

---

(8) その他 Other:

- a) 現在、他の大学院に在学中の人は、当該大学院の受験許可書

Those who are currently enrolled in a master’s program at another university must submit evidence that they have permission (juken kyoka sho) from their institution to take the KIT entrance exam.

- b) 在留資格の確認をしますので、在留カードを提示またはコピーを提出してください。なお、在留資格を有していない場合は、パスポートを提示またはコピーを提出してください。

Present your residence card or submit a copy so that we can confirm your residence status. Present your passport or submit a copy of your passport if you have not been issued a residence status (visa).

- c) 授業料免除を希望する外国人留学生は授業料免除申請書類を併せて提出してください(51ページ参照)。

International students wishing to apply for tuition fee exemption should also submit the tuition fee exemption application (see page 51).

---

※その他、必要に応じて別途書類の提出を求めることがあります。

KIT may request additional documents when necessary.

※出願書類に係る個人情報(出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知、入学手続及び奨学金申請者の採用推薦選考)のみに使用します。

Any personal information provided in the application documents will, after application, only be used for contact purposes, eligibility confirmation, admission selection, statistical surveys, and notification of acceptance, admission formalities and scholarship applicant screening.

※入学者選抜における個人の成績は、入学者選抜の他、各種統計資料作成、今後の入学者選抜に係る調査・研究、入学科・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考のみに使用します。

An individual's academic records from the admissions process will only be used for admissions, preparation of statistical reports, research on future admissions, selection of applicants for tuition and fee exemptions, and recommendation and selection of scholarship recipients.

## 6 検定料の支払 Application Fee Payment

30,000円 30,000 JPY

支払方法は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM（ペイジー）より、選択が可能です。インターネット出願システムに表示される案内に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払には別途手数料がかかります。

ただし、下表に該当する人は、検定料が不要または免除されることがあるため、出願前に入試課大学院入試係に申し出てください。

Applicants may select to transfer payment from: a convenience store, a financial institution ATM (Pay-easy), or using a credit card. Follow the internet application system instructions and complete payment procedures by the deadline. Note that transfer fees must be paid by the applicant.

However, applicants who fall under one of the categories in the table below, may be exempt from paying, or not be required to pay the application fee. Contact the Graduate Admissions Office before applying if this applies to you.

対象者 Eligible persons	条件 Conditions	必要書類等 Required documentation	検定料 Application fee
国費外国人留学生 Japanese Government (MEXT) Scholarship students	奨学金支給期間延長の申請予定者 Students intending to apply for an extension of government funding	国費外国人留学生であることを証明する書類 Documents proving that the student is a Japanese Government (MEXT) Scholarship student	不要 Not required
大規模な風水害等により被害（居住家屋の半壊等）を受けた人 Individuals affected by a large-scale disaster (e.g., whose homes were destroyed or damaged (50% or more))	風水害等の発生が出願期間前の概ね1年以内 Large-scale disaster must have occurred within 1 year of the application period	別途指示します Individual advice will be provided	全額免除の場合あり Full exemption may apply

## 7 障害等のある人への受験上・修学上の配慮について

### Preliminary Consultations for Applicants with Special Needs

本学に出願しようとする人で、障害等のある人は、受験上及び修学上必要な配慮を行いますので、出願の前からあらかじめ本学に申し出てください。なお、相談が必要となる場合の事前手続は、次のとおりです。また、出願書類提出後でも、同配慮を必要とする場合は、相談の締切日にかかわらず、速やかにご相談ください。

Exam and other (post enrollment) special needs accommodations should be requested prior to submitting an application, and the following procedures are required when consultation is necessary. Regardless of the consultation deadline, in cases where such arrangements are needed, contact the Graduate Admissions Office as soon as possible, even if the admission application documents have already been submitted.

#### ① 相談の時期 Consultation period

原則として、出願期間の1週間前まで。

For best possible outcomes, applicants should initiate special needs consultation at least one week prior to the admission application period.

#### ② 相談の方法 Consultation method

本学ホームページ (<https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html>) を確認のうえ、申請書及びその他必要書類（医師の診断書など）を提出してください。必要な場合は、本学において出願者の事情を説明できる人との面談等を行います。

Refer to this link: (<https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/jukenhairyo.html>) and submit your application form and other necessary documents (medical report, etc.). If needed, KIT will consult someone who can further clarify the

applicant's condition.

③ 連絡先 Contact

巻末問合せ先（大学院入試全般について）参照

Contact to the Admission Office, Graduate Admission (See page 55)

※なお、修学上の配慮については、事前にアクセシビリティ・コミュニケーション支援センターにご相談ください。

Consult the Center for Accessibility and Communication Assistance in advance for inquiries regarding post-enrollment Educational Considerations for Special Needs Assistance.

Contact e-mail address: csr@jim.kit.ac.jp

Reference URL : [https://www.kit.ac.jp/edu\\_index/accessibility\\_ccs/](https://www.kit.ac.jp/edu_index/accessibility_ccs/)

## 8 出願についての注意事項 Cautions regarding the Application

- (1) 次の場合には、出願書類を受理しません。

Applications such as the following will be rejected

- ① インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合  
The application process was not completed using the internet application system.
- ② 出願書類がそろっていない場合  
There are missing application forms/documents.
- ③ 出願書類の記載が不完全な場合  
Some application forms/documents contain omissions.
- ④ 検定料が支払われていない場合  
The application fee has not been paid.

- (2) 出願書類の受理後は、記載事項の変更は認めません。

No changes in the application forms/documents will be permitted once submitted.

- (3) 出願書類は原則返還しません。また、支払い済の検定料は、次の場合を除き、原則返還しません。

Application forms and documentation will not be returned under any circumstances.

Application fees can only be returned in the following situations.

- ① 検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）場合  
The applicant paid the application fee, but did not submit the application forms/documents, or KIT did not receive the application/documents.
- ② 検定料を誤って二重に支払った場合  
The applicant accidentally paid the application fee twice.

\* 検定料返還請求の方法については、入試課大学院入試係へお問い合わせください。

In the event of the above contact the Graduate Admissions Office for information on requesting an application fee refund.

- (4) 出願書類において虚偽の記載や偽造があった場合は、不正行為となることもあり、試験の結果を無効とすることがあります。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

False statements or forgeries identified in the application documents may be deemed fraudulent and potentially lead to disqualification. Moreover, if such fraudulent behavior is discovered after admission, it could result in the retroactive cancellation of acceptance and enrollment, even after an applicant has successfully passed the examination.

## 9 選抜方法 Selection Method

入学者の選抜は、学力検査及び書類選考により行います。学力検査は、専攻ごとの指定のない限り、日本語で実施します。学力検査日時及び検査方法については 33 ページをご確認ください。

Selection is based on entrance exam results and a careful review of application documents. The examination is conducted in Japanese unless otherwise specified by a major/program. For Examination Date and Type, see [page 33](#).

なお、次の条件を満たす人については、学力検査科目「外国語」を課さない場合があります。

・主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である。

Applicants who have graduated or are expected to graduate from a bachelor's program where the primary language of

instruction is English, may be exempt from “foreign language” evaluation sections of the examination process.

上記に該当すると思われる方は、次の日時までに電子メールにて入試課大学院入試係にご相談願います。その際、原則として、大学・学部において「主として英語による教育を受けた」ことを証明する書類が必要になります。

なお、他大学院の博士前期課程（修士課程）を英語により修了した場合であっても、「主として英語による教育を行う大学・学部を卒業した、もしくは、卒業見込である」ことを示す証明書を提出してください。

4月入学：2026年10月5日（月）

秋入学（第Ⅰ期）：2026年4月20日（月）（第Ⅱ期）：2026年6月1日（月）

相談方法：電子メール（innyushi@kit.ac.jp）

Consult the Graduate Admissions Office by one of the following dates to request this exemption.

As a general rule, you will need to provide documents certifying that “you have been educated primarily in English” at bachelor's program of your university.

Note that even if you have completed a master's program at another graduate school in English and are applying to our master's program, you must submit a certificate showing that you have graduated or are expected to graduate from a bachelor's program that provides education mainly in English.

April admission: October 5, 2026 (Mon)

Fall admissions (Term I): April 20, 2026 (Mon) (Term II): June 1, 2026 (Mon)

Consultation method: E-mail (innyushi@kit.ac.jp)

## 10 アドミッションポリシー Admission Policy

各専攻では、専攻に係る専門的な教育研究をすることにより、以下に掲げる人材を育成します。また、この専門的な教育を修めて研究を遂行するために、以下に掲げる能力や適性を持つ人を求めます。

All programs provide the relevant specialized education and research required to develop human resources with the qualities described below. Each program seeks students possessing the abilities and aptitudes required to complete this specialized education and to carry out research.

### 応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology

#### 人材育成の目標 Aims and Purposes

バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。

We foster global engineers and researchers who possess advanced knowledge, skills, and deployment capabilities in biotechnology and can contribute to the realization of a safe, contented, and sustainable society by contributing to solutions to current issues and by giving back to society.

#### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using an oral examination on specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

#### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

ライフサイエンスに関する専門的な知識を有し、バイオテクノロジー分野での国際的活躍に意欲のある人

We seek applicants who possess specialized knowledge of life science and are eager to take an international role in biotechnology.

### 材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials

#### 人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、高分子物性工学、無機材料科学、材料物理化学、並びに光工学に関する十分な基礎知識をもち、高分子やセラミックスなどをベースにして高次構造化・機能化のアプローチにより実効性ある革新材料開発を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として人間的に広く深い素養と自覚、豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

本専攻の修了生は、電気製品、化学（プラスチック、有機、無機他）、繊維製品、ゴム製品、ガラス・セラミックス等の企業において研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

The department trains students in sufficient fundamental polymer science and engineering, inorganic materials science, physical chemistry of materials, and optical engineering, and ensures they can apply their abilities to effectively develop innovative materials based on polymers and ceramics using higher-order structuring and functionalization approaches. In addition, the program fosters individuals who have a broad and deep humanistic background and identify as research engineers engaged in materials development. Applicants should possess a comprehensive international mindset.

Graduates of the program are expected to become active as research and development engineers in companies specializing in electronic products, chemicals (plastic, organic, inorganic, etc.), textiles, rubber products, glass, ceramics, and other products.

#### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using an oral examination on specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

#### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

高分子材料やセラミック材料の専門領域に対して強い関心を示し、それらの材料を科学する心の知性と実現する意欲、ならびに特に、国際的な視野から問題発掘できる能力

We admit students who have a strong interest in macromolecular and ceramic materials, are intellectually capable of scientific analysis of these materials and are eager to undertake these studies. In student selection, we place the most weight on an ability to address issues from international points of view.

### 材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control

#### 人材育成の目標 Aims and Purposes

高い機能を持つ材料を扱う研究技術者は、高分子、無機材料などの個々の特性についての知識に止まらず、機能の源となる基礎的な性質について深く理解していることが求められます。本専攻では、それらの知識と理解に基づき、

社会に役立つ材料とは何かを考え、将来への見通しを持つ人材、さらに自らの技術力をグローバルに展開する国際性をもつ人材を育成します。

Research engineers who handle highly functional materials must not only have knowledge of the individual properties of polymers and inorganic materials, but also a deep understanding of the fundamental properties that are the source of their functions. Based on this knowledge and understanding, this department trains students to consider what materials are useful to society, to have a vision for the future, and to have an international mindset to develop their own technological capabilities on a global scale.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using an oral examination on specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

高分子物質、無機物質などの集合体による、材料のブレークスルーを実現することを志向しつつ、真に豊かな社会の発展を目指し、特に、国際的な視野から問題発掘できる能力

We seek to enroll persons keen to develop a truly prosperous society while aspiring to realize material breakthroughs using aggregates consisting of substances such as macromolecular and inorganic materials. In particular, importance is placed on the ability to identify global issues and formulate solutions from an international perspective.

## 物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、有機、無機、高分子化合物、各種ハイブリッドの合成化学、精密分子設計、触媒反応化学、界面材料化学、ならびにヘテロ元素化学に関する十分な基礎知識をもち、精密合成を基盤にボトムアップのアプローチで、医薬品、農薬、発光材料、液晶分子、界面活性物質、繊維改質剤、光反応性触媒など、革新的な物質や材料の創成を実現する応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、材料開発に携わる研究技術者として、人間的に広く深い素養と自覚、ならびに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。本専攻の修了生は、化学（有機、プラスチック、油脂他）、医薬品、繊維製品分野などの企業において、化学製品や機能材料の創製に軸足を置いた研究・開発技術者として活躍すると期待されます。

This program equips students with sufficient fundamental knowledge of the synthetic chemistry of organic, inorganic, and macromolecular compounds and their hybrids; precision molecular design, catalyst & reaction chemistry, interfacial materials chemistry, and heteroatom chemistry. Using a bottom-up approach based on precision synthesis, the program fosters the development of innovative materials, such as pharmaceuticals, agrochemicals, light emitting materials, liquid crystalline molecules, surface active materials, fiber modifiers, photoreactive catalysts, and more. In addition, the program fosters human resources who have a broad and deep humanistic background, identify as research engineers engaged in materials development, and have an informed international outlook. Graduates of this program are expected to be active researchers and development engineers focusing on synthesizing chemical products and functional materials in such diverse fields as chemistry (plastics, oils and fats, etc.), pharmaceuticals, and textiles.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using an oral examination on specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

物質の合成に強い興味と関心をもち、化学に関する幅広い基礎知識を備え、環境との調和を考えながら、原子・分子レベルでの物質創成を通して、有用な新規材料の開発を進める国際感覚に優れた能力

We seek persons who have a strong interest in materials synthesis, are equipped with a broad fundamental knowledge in chemistry, can promote the development of useful and environmentally-friendly novel substances using materials synthesis at the atomic and molecular levels, and who excel in intercultural awareness.

## 機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、生体関連化学、生物化学、物理・分析化学、分子構造化学、高分子化学及び化学工学に関して十分な基礎知識をもち、生物の機能や構造を再現・応用することによって、新しい物質や材料を創成するとともに、化学の視点を軸として分子レベルで物質の機能を捉え、構造を探り、その活用を促進できる応用能力を身につけた人材を育成します。加えて、他専攻の講義履修や研究交流を通じながら、広い視野で材料開発に携わる研究技術者として人間

的に広く深い素養と自覚並びに豊かな国際性を併せもつ人材を育成します。

We create new materials and substances by reproducing and applying the functions and structures of living organisms, and understanding the functions of substances at the molecular level from the viewpoint of chemistry, to explore their structures, and to develop new materials with sufficient foundational knowledge of bio-related chemistry, biochemistry, physical and analytical chemistry, molecular structural chemistry, macromolecular chemistry and chemical engineering. Our students become human resources with practical skills they can utilize. In addition, the program cultivates research engineers engaged in materials development, and fosters in them a comprehensive humanistic foundation and awareness. This is achieved by encouraging them to take courses in other departments, participate in research exchange and take on a multi-perspective international outlook.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using an oral examination on specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

生命科学と化学の学際領域を担う機能性物質の構造と機能に関する強い興味と関心、研究遂行する上で不可欠な基礎知識と基礎学力、特に、国際的な視点に基づいて研究課題を解決する能力

We select persons who have a strong interest in the structures and functions of functional substances with important roles in the interdisciplinary domain between chemistry and the life sciences, and who are equipped with the fundamental knowledge and academic abilities indispensable to conducting research. In particular, importance is placed on the ability to solve tasks from a global perspective.

## 電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

数学、物理学、電気電子系専門科目の十分な基礎知識を有し、再生可能エネルギー、ナノテクノロジー、新材料、エレクトロニクス、情報通信、画像処理に関する基盤技術を修得するとともに、高度な専門知識に基づいて、物理学、化学、医学との境界領域分野の開拓を先導できる能力、新しい技術を社会実装できる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

This program develops human resources who have sufficient fundamental mathematics, physics, and specialized subjects in electrical and electronic systems, and who acquire knowledge of fundamental technologies related to renewable energy, nanotechnology, new materials, electronics, information communications, and image processing, as well as the ability to lead the development of areas of study bordering on physics, chemistry, and medicine using their advanced specialized knowledge and the ability to implement new technologies for the benefit of society.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using a written or oral examination on specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

修学及び研究活動に必要な英語力、基礎学力、希望研究分野に関連した専門基礎知識、研究意欲

We seek persons who are equipped with English ability and the underlying academic abilities required for the course of study and accompanying research activity. Prospective students should possess fundamental specialized knowledge and demonstrate enthusiasm for their chosen research field.

## 情報工学専攻 Master's Program of Information Science

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

あらゆる産業基盤を支えているICTについての高度な知識と技能を身に付け、情報機器製造業をはじめとする様々な製造業において、またICTを活用したサービス事業を展開する企業において、さらにはICTに関連した様々な企業および教育・研究機関において、リーダーシップを持ちつつ自発的かつ国際的に研究・開発を行い、人間中心型の豊かな情報社会の構築を先導する研究技術者の育成です。

The Information Science program fosters research engineers. Our students acquire advanced knowledge and skill in information and communication technology (ICT), a field vital to all industrial infrastructure. These engineers are poised to lead manufacturing sectors including information equipment manufacturing, enterprises developing services with ICT, and various ICT-related companies and educational/research institutions. We expect graduates to lead voluntary and international research and development, contributing to the construction of a rich and humane information society.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using written and oral examinations in specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

専攻での教育・研究に必要な情報工学、数学の知識及び研究活動に必要な英語能力と修学に必要な日本語能力を有し、豊かな情報社会を実現する強い熱意を持って、グローバルな視点で研究・開発に取り組む意欲

We seek applicants who possess the information technology and mathematics knowledge necessary for education and research in this major, the English-language skills necessary for research activity, and the Japanese-language skills necessary for study. Applicants must be motivated to engage in research and development from a global perspective with a strong enthusiasm for realizing a prosperous information society.

**機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics**

**人材育成の目標 Aims and Purposes**

機械物理学専攻は、機械工学の根幹をなす力学分野を中心に、様々な物理現象を理解するための理論的、実験的および数値的解析手法を身に付け、実際の工学的問題に応用する能力を有し、国際的に活躍できる「探究的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

The Mechanophysics program fosters mechanical engineers and researchers who have acquired theoretical, experimental, and numerical analytical methods. Students come to understand various physical phenomena with the mechanics focus fundamental to this engineering field and develop the ability to apply this knowledge to real-life engineering problems. In addition, students develop "exploratory value creation ability" enabling them to be proactive on the international stage.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using written and oral examinations in specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

We seek persons who are equipped with basic academic ability in mechanical engineering, have curiosity and deep insight regarding nature and manufacturing, and are also capable of independently identifying problems and persistently developing original solutions to these problems at a state-of-the-art level.

**機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign**

**人材育成の目標 Aims and Purposes**

機械設計学専攻は、機械工学のみならず幅広い先端的テクノロジーに精通し、これらの工学的知識を横断的に駆使することによりイノベーションをデザインする能力を有し、国際的に活躍できる「実践的価値創造力」を持つ機械技術者・研究者を育成することを目的としています。

The Mechanodesign program fosters mechanical engineers and researchers who are familiar with a wide range of advanced technologies as well as mechanical engineering, have the ability to design innovations by making full use of such engineering knowledge across the board, and have the "practical value creation ability" to be active internationally.

**選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy**

専門科目・分野に関する筆記試験や口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using written and oral examinations in specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

**求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes**

機械工学の基礎学力を有し、自然やものづくりに対する好奇心と深い洞察力を持ち、さらに自ら問題を設定して、その解決に向けて独創的・先端的・挑戦的に取り組める能力

We seek persons who are equipped with basic academic ability in mechanical engineering, have curiosity and deep insight regarding nature and manufacturing, and are also capable of identifying problems unassisted and persistently working to develop original solutions to these problems at a state-of-the-art level.

## デザイン学専攻 Master's Program of Design

## 人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、モノづくりに関わる専門的な社会実装能力を身につけ、異分野の専門家との混合チームの中でデザイナーやエンジニア、またマネージャーとして力を発揮でき、アイデアを実現するためのプレゼンテーション能力と英語でのコミュニケーション能力を身につけ、また、キュレーション分野においては、美術、デザイン、建築などの作品や作者についての基本的な知識を習得し、それを踏まえて作品の分析と文献の解読による理論構築をするとともに、対象の「価値」を「キュレーション」（「企画」「編集」「ディレクション」「展示」「発信」）という形式でも示しうる能力を身につけた人材の育成を目指しています。

さらに、連携外国大学（ロンドン芸術大学）とのダブルディグリーコース（DDコース型）では、デザイン分野での国際連携プロジェクトなども行える人材の育成も目指しています。

Design program students acquire specialized social implementation skills related to manufacturing, become able to demonstrate their abilities as designers, engineers, and managers in mixed teams with specialists from different fields, acquire presentation skills and communication skills in English to realize their ideas, and in the field of curation, acquire fundamental art, design, architecture, and related knowledge. Their knowledge of masters in these areas enables them to build theories by analyzing works and deciphering literature, as well as "curating" (planning, editing, directing, exhibiting, and disseminating) the "value" of a subject. Our goal is to develop human resources with the ability to demonstrate all this in a formal way, as well.

Furthermore, in the double degree course (DD course type) with the partner university (University of the Arts London), we aim to develop human resources who can also conduct international collaborative projects in the field of design.

## 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野に関する実技または筆記試験、研究計画や専門知識に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using practical or written examinations on the specialized subjects and areas of study, an oral examination on research plans and specialized knowledge, and an evaluation of English-language skills.

## 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

デザイン、マネジメント、テクノロジー、キュレーションに関する基本的な知識と制作スキル、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

表現・造形の基本形をマスターしたデザイン系学科、建築系学科の大学の卒業生や、経営系学科、生活科学系学科、エンジニアリング系学科の卒業生、及びそれらと同等の学力を有するモノ・空間・サービス等のデザインやキュレーションに関心のある他学科の卒業生を選抜の対象とします。

We are looking for people with fundamentals and production skills related to design, management, technology and curation. Applicants should be flexible and creative thinkers motivated to research topics deeply, put expertise into practice and create new methodologies.

Applicants eligible for selection include design or architectural degree graduates, who have mastered the basic forms of expression and design, business administration graduates, life science graduates, engineering graduates as well as those from other disciplines with equivalent academic ability, who are interested in the design and curation of objects, space and services.

## ※修了方法について Note: About the method of completion

本専攻には、修了審査に論文を提出する論文型と、デザインの実制作の成果を提出する特定課題型、また、共同プロジェクトやデザイン課題の成果を提出する連携外国大学（ロンドン芸術大学）とのダブルディグリーコース（DDコース型）の3種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。なお、DDコース型は2年後の9月に修了します。4月入学の場合は修了まで2年半在籍することになります。

There are three methods for completing this Program. Students selecting to complete a master's thesis type, submit and defend a thesis. For the master's final project on a specific topic type, students submit and defend an actual design production work. For the double degree type, the results of projects and research are submitted to both the KIT design program and the partner university (University of the Arts London). Candidates are required to choose one of the three at the time of application. The DD course type will be completed in September, two years after entrance. In other words, students enrolling in April, must be enrolled for 2.5 years to complete the course.

## 建築学専攻 Master's Program of Architecture

## 人材育成の目標 Aims and Purposes

本専攻では、国際的な競争力を有した都市・建築の計画立案、設計、総合的マネジメントの能力を有し、歴史や環

境、地域に根ざした都市・建築の保存・修復・再生に関する構想力と、総合的マネジメント能力を身に付け、さらに、デザインやまちづくりの合意形成や研究内容の社会化を意識した、高い説明能力を有している人材の育成を目指しています。

This program develops internationally competitive urban and architectural planning, design, and comprehensive management skills, as well as conceptual and comprehensive management skills for the preservation, restoration, and revitalization of cities and architecture rooted in history, the environment, and local communities. Furthermore, our graduates become highly accountable professionals who are aware of consensus building in design and urban development and the social applications of research content.

#### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

専門科目・分野の実技試験または小論文、研究計画や専門知識または持参作品に関する口述試験、英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

The required aptitudes will be assessed using a practical examination or essay on a specialized subject or field, an oral examination on the research plan, specialized knowledge, or work brought by the applicant, and an evaluation of English-language skills.

#### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

建築学に関する基礎的な学力と建築設計能力、柔軟で独創的な発想力、さらに深い専門知識と創造的な方法論を研究・実践していく意欲を持つこと。

特に京都という地において都市・建築を学ぶことに意識的な人材、歴史と場所性に寄り添う思考態度を持つ人材、地球規模で都市・建築とそのデザインを考える発想力と創造意欲を有する人材を求めます。

We seek applicants with basic academic and design abilities regarding architecture. Applicants should be flexible and creative thinkers motivated to research topics deeply, put expertise into practice and create new methodologies.

We expect applicants to be persons who are especially aware of the significance of studying urbanism and architecture in Kyoto.

We seek individuals with approaches and attitudes sensitive to local history and distinctive characteristics of places. Additionally, we value applicants who exhibit imaginative and creative thinking with regard to global-scale urbanism and architecture.

#### ※修了方法について Note: About the method of completion

本専攻には、修了審査に修士論文を提出する論文型と、修了作品を提出する特定課題型の2種類の修了方法があり、出願時にいずれかを選択する必要があります。

There are two methods for completing this Program. For the master's thesis type, students submit and defend a thesis. For the master's final project on a specific topic type, students submit an actual production/work. Students must declare their type selection at the time of their admission application.

### 先端ファイブ科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science

#### 人材育成の目標 Aims and Purposes

繊維や繊維製品に関連する科学技術と工学、およびヒトへの応用を学ぶことにより、ヒトと環境に優しいものづくりができ、かつ未知のものに向かって自らの考えでアプローチができる応用力を身につけた人材を育成します。加えて、新しい機能性繊維の開発や、繊維製品の設計・評価・リサイクル、さらにはヒトの生体情報や日本の伝統技術の理解といった先端の専門研究を自らが主体的に実践することにより、高度な専門的技術や知識を備えた人材を育成します。

Through the study of science, technology, and engineering related to fibers and textile products, and their applications for human use, we cultivate professionals capable of creating products that are both people- and environment- friendly, while also developing the skills to approach challenges with innovative ideas and solutions. Furthermore, by proactively engaging in cutting-edge specialized research—such as developing new functional fibers, designing, evaluating, and recycling textile products, and understanding human data and traditional Japanese techniques—we nurture experts with advanced specialized skills and knowledge.

#### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

積極的な知識の習得意欲ならびに課題解決に対しての積極性を求める。英語による筆記試験、これまで学んできた専門知識に関する口述試験の評価により、能力・適性を判定します。

Through an oral examination, we assess applicant enthusiasm for problem solving and proactive desire to acquire research theme related knowledge. English-language skills are evaluated using a writing test.

#### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

自然科学に関する基礎学力を備え、自身の研究に閉じこもることなく広く知識を得ようとする深い感性と、問題を発見・解決し、それを論理的に説明する能力があり、研究成果が社会に還元できるよう常に自ら思考し実行する情熱と忍耐力

We are looking for applicants who possess fundamental academic abilities in natural science, have an intense curiosity to pursue extensive knowledge beyond their own interests, are capable of identifying and resolving problems and offering logical explanations, and have the passion and perseverance necessary to invest the results of their research in society.

## バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science

### 人材育成の目標 Aims and Purposes

バイオベースマテリアル学専攻は、人類が直面する地球環境問題の解決と理想的な未来社会を実現しようとする気概を持ち、高度に分化・専門化した現代の科学技術の基礎を横断的かつ国際的に理解し、その課題解決のために協働できる人材を育成します。その目的達成のためには、植物バイオマスからの原料開拓とそれをを用いた高分子材料の合成、高分子材料の物性や微細構造の解析および成形加工などバイオベースマテリアルに関する研究開発が不可欠であり、これらの分野を理解できる人材を育成します。

The Biobased Materials Science program fosters human resources who are determined to solve the global environmental problems facing humanity and realize an ideal future society, who understand the fundamentals of today's highly differentiated and specialized science and technology in a cross-disciplinary and international manner, and who can work together to solve such problems. To achieve this goal, it is essential to develop raw materials from plant biomass, synthesize polymer materials using such materials, analyze the physical properties and microstructure of polymer materials, and conduct research and development into biobased materials, in such areas as molding and processing.

### 選抜の方針・ポリシー Enrollment Selection Policy

知識の習得とバイオベースマテリアルの研究に意欲的に取り組み、その実現を目指す人を求めます。口述試験及び英語力の評価により、求める能力・適性を判定します。

We are looking for applicants who will acquire knowledge and play an active role in research regarding biobased materials to realize a society supported by and reliant on these materials. The required aptitudes will be through using an oral examination on specialized subjects and areas of study, and an evaluation of English-language skills.

### 求める能力と適性 Required Abilities and Attitudes

環境問題への関心と解決意欲を備え、科学に対する興味が高く、研究成果の社会に対する貢献心を持っていること。

We are looking for applicants who are interested in environmental issues and science and are motivated to solve related problems. Also, applicants are expected to contribute their future research results to society.

11 学力検査日時及び検査方法 Examination Date and Type

(1) 学力検査日時及び科目 Examination schedule and subjects

① 2027年4月入学 April Admission for 2027

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	13:00～	100	応用生物学について実施する。 Applicants will respond to questions related to applied biology.
材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	9:30～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2027年4月入学 April Admission for 2027

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	9:30~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	50	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 10:00~12:00 (120分/ 120 minutes) Specialized subject	150	電磁気学、電気回路、電子回路の3題 Questions on three topics: electromagnetism, electric circuits and electronic circuits
		口述試験 Oral exam	13:30~	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等について実施する。 Interviews on specialized knowledge in subjects relating to the chosen field
情報工学専攻 Master's Program of Information Science	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 9:30~12:00 (150分/ 150 minutes) Specialized subject	300	プログラミング、ハードウェア、情報通信の3題 Questions on three topics: programming, hardware and information communication
		口述試験 Oral exam	13:30~	100	基礎的な知識を問うことがある。日本語による試問を含む。 Interviews on fundamentals, including interviews in Japanese.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2027年4月入学 **April Admission for 2027**

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。 Interviews on fundamentals of mechanical engineering.
機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	13:30～	300	機械工学の基礎事項に関する知識を問う。 Interviews on fundamentals of mechanical engineering.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2027年4月入学 April Admission for 2027

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
デザイン学専攻 Master's Program of Design	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		実技 または 筆記 試験 Practical or Written exam	専門科目 9:30~12:00 (150分/150 minutes) Specialized subject	A: 300 B: 200	特定課題型は、デザインに関わる実技を含む問題。論文型は、デザイン、マネジメント、エンジニアリング、キュレーションに関わる記述問題4題のうちから1題を選択。 DDコース型は、論述形式の英文問題。 3コース全ての試験で、英語で出題される場合がある。 For students selecting the master's final project on a specific topic type, specific tasks will be assigned, including practical questions related to design. For those selecting the master's thesis type, one of four descriptive questions related to design, management, engineering, or curation must be addressed. For those selecting the DD course type, discursive format responses (in English) to essay questions will be assigned. Examination questions for all three course types may be presented in English.
		口述 試験 Oral exam	13:00~	A: 200 B: 300	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。 試験は、英語で行う場合がある。 The oral examination is conducted on the applicants' research proposals and related specialized knowledge as well as materials they bring to the entrance examination. The examination may be conducted in English.
		<p>(注) 実技または筆記試験、さらに口述試験の配点については、特定課題型及び論文型は、A配点、DDコース型は、B配点となる。</p> <p>(Note) Points allotted for the practical or written examination and the oral examination are as follows: participants taking the master's final project on a specific topic type and the master's thesis type will be allotted 'category A points,' and the DD course type participants will be allotted 'category B' points.</p>			

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2027年4月入学 April Admission for 2027

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
建築学専攻 Master's Program of Architecture	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		実技 または 筆記 試験 Practical or Written exam	小論文・設計 9:00~13:00 (240分 / 240 minutes) Essay or Architectural design examination	300	小論文または設計のうちから1つを出願時に選択。小論文については、建築学全般から出題される複数題から1題を選択。設計については、解答用のケント紙をA2サイズとする。 When you apply, choose to take either an essay or a practical architectural design examination. The essay examination requires examinees to choose one topic from among several general architectural studies questions. For the design exam, an A2-size Kent paper is used for your design solution.
		口述 試験 Oral exam	14:30~	200	研究計画及び関連する専門的知識について、または持参作品について実施する。 Interviews on your research proposal and related specialized knowledge as well as your portfolio brought to the entrance examination.
先端ファイブロ 科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro-Science	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	13:00~	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施する。日本語による試問を含む。 Interviews on specialized knowledge related to your desired research area, including interviews in Japanese.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2027年4月入学 April Admission for 2027

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
バイオベース マテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science	2026年 12月5日(土) 5 Dec. 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	10:00～	200	オンライン形式で実施する(1人30分程度)。志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。また、提出された口述試験資料の内容について5分間程度口頭で説明を求め、それに関連する質問をする。なお、口述試問は日本語で行う。 なお、口述試験接続テスト(本専攻と各受験者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認※5分程度)を、下記のいずれかの日時に実施する。 令和8年11月30日(月) 12:00～14:00、 令和8年12月1日(火) 12:00～14:00、 The examination will be conducted online (approximately 30 minutes per person). It will include oral questions that assess specialized knowledge in the applicant's chosen field and related areas. In addition, applicants will be asked to give a brief oral explanation (approximately five minutes) of the contents of the submitted oral exam documents, and to respond to related questions. The oral examination will be conducted in Japanese. Oral Exam Connection Test (A preliminary remote connection verification between this department and each examinee * approximately five minutes) will be conducted on one of the following dates. November 30, 2026 (Mon), 12:00 PM–2:00 PM December 1, 2026 (Tue), 12:00 PM–2:00 PM

② 2026年秋入学（第Ⅰ期） **Fall Admissions for 2026 (Term I)**

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
デザイン学専攻 Master's Program of Design (DDコース型) (DD course type)	2026年 7月4日(土) 4 July, 2026 (Sat)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 9:30~12:00 (150分/150 minutes) Specialized subject	200	デザインに関する論述形式の英文問題。 Discursive format responses (in English) to essay questions will be assigned.
		口述試験 Oral exam	13:00~	300	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。 試験は、英語で行う場合がある。 The oral examination is conducted on the applicants' research proposals and related specialized knowledge as well as materials they bring to the entrance examination. The examination may be conducted in English.
		(注) 本試験は、DDコース型のみを対象としたものです。特定課題型、論文型での秋入学を志願される方は、秋入学（第Ⅱ期）をご参照ください。 Note that this exam is only for DD course applicants. "Specific topic" or "Thesis" applicants should refer to the Fall Admissions for 2026 (Term II) information on page 42.			

③ 2026年秋入学（第Ⅱ期） **Fall Admissions for 2026 (Term II)**

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
応用生物学専攻 Master's Program of Applied Biology	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	13:00~	100	応用生物学について実施する。 Applicants will respond to questions related to applied biology.
材料創製化学専攻 Master's Program of Innovative Materials	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00~	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2026年秋入学（第Ⅱ期） **Fall Admissions for 2026 (Term II)**

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
材料制御化学専攻 Master's Program of Material's Properties Control	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
物質合成化学専攻 Master's Program of Materials Synthesis	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
機能物質化学専攻 Master's Program of Functional Chemistry	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for evaluation, instead of a written examination.
		口述試験 Oral exam	10:00～	200	研究する分野に関連した科目についての基礎及び専門的学力について問う。 Interviews on basic and specialized knowledge concerning subjects related to the field of study.
電子システム工学専攻 Master's Program of Electronics	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	50	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 10:00～12:00 (120分/ 120 minutes) Specialized subject	150	電磁気学、電気回路、電子回路の3題 Questions on three topics: electromagnetism, electric circuits and electronic circuits
		口述試験 Oral exam	13:30～	100	志望分野に関連する科目の専門的学力等について実施する。 Interviews on specialized knowledge in subjects relating to the chosen field.

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2026年秋入学（第Ⅱ期） **Fall Admissions for 2026 (Term II)**

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内 容 Content
情報工学専攻 Master's Program of Information Science	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	150	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	数学 10:00～12:00 (120分/120 minutes) Mathematics	150	線形代数から1題、微積分(微分方程式を含む)から2題の計3題 2 questions from Calculus (including ordinary differential equations), 1 question from linear algebra.
		筆記試験 Written exam	専門科目 13:30～15:30 (120分/120 minutes) Specialized subject	200	プログラミング(C, Java, データ構造とアルゴリズム) Programing (C, Java, data structure and algorithms)
	2026年 8月20日(木) 20 Aug, 2026 (Thu)	口述試験 Oral exam	13:30～	100	基礎的な知識を問うことがある。日本語による試問を含む。 Interviews on fundamentals, including interviews in Japanese.
機械物理学専攻 Master's Program of Mechanophysics	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 13:00～14:30 (90分/90 minutes) Specialized subject	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各1題(計4題)のうちから2題を選択。 Select two questions from each of the following fields: Strength of Materials, Kinematics and Dynamics of Mechanical Systems, Thermodynamics, and Fluid Dynamics (total of four questions).
機械設計学専攻 Master's Program of Mechanodesign	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		筆記試験 Written exam	専門科目 13:00～14:30 (90分/90 minutes) Specialized subject	200	材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の分野から各1題(計4題)のうちから2題を選択。 Select two questions from each of the following fields: Strength of Materials, Kinematics and Dynamics of Mechanical Systems, Thermodynamics, and Fluid Dynamics (total of four questions).

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2026年秋入学（第Ⅱ期） Fall Admissions for 2026 (Term II)

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content	
デザイン学専攻 Master's Program of Design (特定課題型、 論文型) (Specific topic type, Thesis type)	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)	/	外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.	
			実技 または 筆記 試験 Practical or Written exam	専門科目 9:30~12:00 (150分/150 minutes) Specialized subject	300	特定課題型はデザインに関わる実技を含む問題。論文型はデザイン、マネジメント、エンジニアリング、キュレーションに関わる記述問題4題のうちから1題を選択。 試験は、英語で出題される場合がある。 For students selecting the master's final project on a specific topic type, specific tasks will be assigned, including practical questions related design. For those selecting the master's thesis type, one of four descriptive questions related to design, management, engineering, or curation must be addressed. Examination questions for both course types may be presented in English.
			口述 試験 Oral exam	13:00 ~	200	研究計画書の内容、関連する専門知識、持参した資料について実施する。 試験は、英語で行う場合がある。 The oral examination is conducted on the applicants' research proposals and related specialized knowledge as well as materials they bring to the entrance examination. The examination may be conducted in English.
			注) 本試験は、特定課題型及び論文型のみを対象としたものです。DDコース型での秋入学を志願される方は、秋入学（第Ⅰ期）をご参照ください。 Note that this exam is for "Specific topic" and "Thesis" applicants. Applicants for "DD courses", should refer to the Fall Admissions for 2026 (Term I) information on page 39.			
建築学専攻 Master's Program of Architecture	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)	/	外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	200	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.	
			実技 または 筆記 試験 Practical or Written exam	小論文・設計 13:30~17:30 (240分/240 minutes) Essay or Architectural design examination	300	小論文または設計のうちから1つを出願時に選択。小論文については、建築学全般から出題される複数題から1題を選択。設計については、解答用のケント紙をA2サイズとする。 When you apply, choose to take either an essay or a practical architectural design examination. The essay exam requires examinees to choose one topic from among several general architectural studies questions. For the design exam, an A2-size Kent paper is used for your design solution.
	2026年 8月20日(木) 20 Aug, 2026 (Thu)	口述 試験 Oral exam	1日目に集合時間を発表 9:00~ The meeting time will be announced on the 1st day.	200	研究計画及び関連する専門的知識または持参作品について実施する。 Interviews on your research proposal and related specialized knowledge as well as your portfolio brought to the entrance examination.	

(次ページへ続く / NEXT PAGE)

2026年秋入学（第Ⅱ期） Fall Admissions for 2026 (Term II)

専攻 Master's Program	学力検査日 Exam Date	区分 Exam Type	学力検査科目・時間 Exam Subject and Time	配点 Points	内容 Content
先端ファイブロ 科学専攻 Master's Program of Advanced Fibro- Science	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	13:00～	200	志望分野及び関連分野の専門的学力等について実施する。日本語による試問を含む。 Interviews on specialized knowledge related to your desired research area, including interviews in Japanese.
バイオベース マテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science	2026年 8月19日(水) 19 Aug, 2026 (Wed)		外国語 (筆記試験は実施しない) Foreign language (No written examination)	100	筆記試験に代えて、出願時に提出されたTOEIC個人用公式認定証のスコアにより、評価する。 The Official TOEIC Score Certificate you submitted at the time of application will be used for this evaluation, instead of a written examination.
		口述 試験 Oral exam	10:00～	200	オンライン形式で実施する(1人30分程度)。志望分野及び関連分野の専門的学力の口述試問等を含む。また、提出された口述試験資料の内容について5分間程度口頭で説明を求め、それに関連する質問をする。なお、口頭試問は日本語で行う。 なお、口述試験接続テスト(本専攻と各受験者の間で行う事前の遠隔による接続動作確認※5分程度)を、下記のいずれかの日時に実施する。 令和8年8月6日(木) 12:00～14:00、 令和8年8月7日(金) 12:00～14:00、 The examination will be conducted online (approximately 30 minutes per person). It will include oral questions that assess specialized knowledge in the applicant's chosen field and related areas. In addition, applicants will be asked to give a brief oral explanation (approximately five minutes) of the contents of the submitted oral exam documents, and to respond to related questions. The oral examination will be conducted in Japanese. Oral Exam Connection Test (A preliminary remote connection verification between this department and each examinee* approximately five minutes) will be conducted on one of the following dates. August 6, 2026 (Thu), 12:00 PM–2:00 PM August 7, 2026 (Fri), 12:00 PM–2:00 PM

(2) 各入学試験における専攻ごとの注意事項 Cautions for each Master's Program

2027年4月入学 April Admission for 2027

■デザイン学専攻 Master's Program of Design

口述試験の際、A3用紙の大きさで3枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

なお、受験者には試験(実技など)に使用する特別な用具は貸与します。

For the oral examination, bring your portfolio (collection of previous work), materials, etc. It must NOT be MORE THAN 3 sheets of A3-size paper (297 mm x 420 mm).

We will lend examinees special equipment needed for the examination (practical skills, etc.).

■建築学専攻 Master's Program of Architecture

下記のものを持参してください。

Please bring the following on the examination day.

- a) 小論文の場合 For the essay: 電卓《注》Calculators\*  
 b) 設計の場合 For architectural design examination :

製図用具、電卓《注》ただし、製図板と T 定規は貸与します。なお、メモ類の持ち込みは一切認めません。

Drawing instruments and Calculators\*. Drawing boards and T-squares will be provided. Examinees are strictly forbidden to bring notes.

- c) 口述試験 Oral examination:

論文型において研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し、そのうち1部は提出してください。

特定課題型においては、建築設計作品のうち代表的な2点程度を説明できるポートフォリオ（図面、写真等、サイズはA3程度）を面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参して、そのうち1部は提出してください。研究計画を説明する場合は、それに必要な資料も面接担当教員用として「3部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は4部）持参し、そのうち1部は提出してください。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

If you have selected to complete a master's thesis, bring three copies (four copies if you need one for yourself) of the materials necessary for explaining your research plan and submit one copy of them.

If you have selected to complete a master's final project on a specific topic, bring three copies (four copies if you need one for yourself) of a portfolio, such as blueprints, photos, etc., showcasing approximately two of your representative architectural designs. The portfolio should be close to A3 in size. Also, if you plan to explain your research plan, be sure to bring three copies (four copies if you need one for yourself) of any necessary documents and submit at least one copy. Note that architectural models are not allowed.

《注》四則計算に加えてルート計算ができる計算機能のみの電卓（関数電卓は、使用できません。電卓は貸与しませんので、受験者各自で用意してください）。

- \*: Calculators must be those that only have four arithmetic, and square root calculation functions. (Scientific calculators are not allowed. Calculators will not be provided. Be sure to bring one.)

■バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ（<https://www.biobased.kit.ac.jp/>）に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して口述試験接続テスト3日前までに登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075-724-7162 e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の15分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から20分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

The oral examination will be conducted online (remotely, using a web-conferencing system). Details and technical requirements are on Master's Program of Biobased Materials Science website at: <https://www.biobased.kit.ac.jp/>.

At three days prior to the test date, the instructions for the Oral Exam Connection Test will be sent to applicants via the email provided on their application. Be sure take the Oral Exam Connection Test if at all possible. Note, however, that failure to take it will not affect the pass/fail decision..

In the event you don't receive the e-mail regarding this, please contact to Admissions Office, Graduate Admission (TEL：075-724-7162 e-mail：innyushi@kit.ac.jp)

On the exam date, examinees should connect to the oral examination online address 15 minutes before their assigned oral examination starting time. Examinees whose connection to the oral examination online address occurs 20 minutes or more after the start of their assigned oral examination starting time, will not be allowed to take the examination.

2026 年秋入学（第 I、II 期） Fall Admissions for 2026 (Term I, II)

■デザイン学専攻 Master's Program of Design

口述試験の際、A3 用紙の大きさを 3 枚までにまとめた作品集・資料等を持参してください。

なお、受験者には試験（実技など）に使用する特別な用具は貸与します。

For the oral examination, bring your portfolio (collection of previous work), materials, etc. It must NOT be MORE THAN 3 sheets of A3-size paper (297 mm x 420 mm).

We will lend examinees special equipment needed for the examination (practical skills test, etc.).

■建築学専攻 Master's Program of Architecture

下記のものを持参してください。

Please bring the following on the examination day.

a) 小論文の場合 For the essay: 電卓《注》 Calculator\*

b) 設計の場合 For the architectural design examination:

製図用具、電卓《注》。ただし、製図板と T 定規は貸与します。なお、メモ類の持ち込みは一切認めません。

Drawing instruments and Calculators\*. Drawing boards and T-squares will be provided. Examinees are absolutely forbidden to bring notes.

c) 口述試験 Oral examination:

論文型において研究計画を説明する場合は、必要と思われる資料を面接担当教員用として「3 部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は 4 部）持参し、そのうち 1 部は提出してください。

特定課題型においては、建築設計作品のうち代表的な 2 点程度を説明できるポートフォリオ（図面、写真等、サイズは A3 程度）を面接担当教員用として「3 部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は 4 部）持参して、そのうち 1 部は提出してください。研究計画を説明する場合は、それに必要な資料も面接担当教員用として「3 部」（自分の手元にも資料を置いて説明したい場合は 4 部）持参し、そのうち 1 部は提出してください。ただし、建築模型の持ち込みは認めません。

If you have selected to complete a master's thesis, bring three copies (four copies if you need one for yourself) of the materials necessary for explaining your research plan and submit one copy of them.

If you have selected to complete a master's final project on a specific topic, bring three copies (four copies if you need one for yourself) of a portfolio, such as blueprints, photos, etc., showcasing approximately two of your representative architectural designs. The portfolio should be close to A3 in size. Also, if you plan to explain your research plan, be sure to bring three copies (four copies if you need one for yourself) of any necessary documents and submit at least one copy.

Note that architectural models are not allowed.

《注》四則計算に加えてルート計算ができる計算機能のみの電卓（関数電卓は、使用できません。電卓は貸与しませんので、受験者各自で用意してください）。

\*: Calculators must be those that only have four arithmetic, and square root calculation functions. (Scientific calculators are not allowed. Calculators will not be provided. Be sure to bring one.)

■バイオベースマテリアル学専攻 Master's Program of Biobased Materials Science

口述試験はオンライン形式（ウェブ会議システムを使用した遠隔による形式）で実施します。詳細や技術的要件については本専攻ホームページ（<https://www.biobased.kit.ac.jp/>）に掲載のとおりです。

口述試験接続テストの要領は出願者に対して口述試験接続テスト 3 日前までに登録したメールアドレスに通知します。口述試験接続テストは可能な限り実施してください。ただし、実施しない場合でも合否判定に影響はありません。

本学からのメールが届いていない場合は、入試課大学院入試係（TEL：075-724-7162

e-mail：innyushi@kit.ac.jp）に連絡してください。

試験当日は、各自の口述試験開始時刻の 15 分前までにオンライン接続してください。各自の口述試験開始時刻から 20 分以上経過してオンライン接続した場合は、受験することができません。

The oral examination will be conducted online (remotely, using a web-conferencing system). Details and technical requirements are on Master's Program of Biobased Materials Science website at: <https://www.biobased.kit.ac.jp/>.

At three days prior to the test date, the instructions for the Oral Exam Connection Test will be sent to applicants via the email provided on their application. Be sure take the Oral Exam Connection Test if at all possible. Note, however, that failure to take it will not affect the pass/fail decision..

In the event you don't receive the e-mail regarding this, please contact to Admissions Office, Graduate Admission  
(TEL : 075-724-7162 e-mail : innyushi@kit.ac.jp)

On the exam date, examinees should connect to the oral examination online address 15 minutes before their assigned oral examination starting time. Examinees whose connection to the oral examination online address occurs 20 minutes or more after the start of their assigned oral examination starting time, will not be allowed to take the examination.

## 12 その他 Other

- (1) 多くの授業は日本語で行われるので、日本語の能力が十分でない人は、日本語の予備教育を受けておくことが望まれます。

Most classes will be conducted in Japanese – therefore, those who are not sufficiently proficient in Japanese are advised to study the Japanese language intensively.

- (2) 住まいについて Information on accommodation

留学生等用の宿舎については、本学ホームページをご確認ください。

For information on accommodation for international students, refer to the KIT webpage.

◇京都工芸繊維大学 HP KIT webpage

- ・大学 HP トップ>国際交流>本学留学希望の方>住居

[https://www.kit.ac.jp/international\\_index/prospective\\_student/](https://www.kit.ac.jp/international_index/prospective_student/)

- ・大学 HP トップ>Prospective Students> Housing & Accommodations

<https://www.kit.ac.jp/en/facilities-services/accommodation/>

- (3) 日本政府奨学金による留学（国費外国人留学生）を希望する人は、各国の日本公館にお問い合わせください。  
Those wishing to apply for a Japanese Government (MEXT) Scholarship to study at KIT as a government sponsored foreign student should contact the Japanese diplomatic office in their respective country.

## 1 学力検査場所・受験についての注意事項 Examination Site and Precautions

### (1) 試験場 Examination Site:

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地)

KIT Matsugasaki Campus (1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto, Japan)

※バイオベースマテリアル学専攻はオンライン形式で実施しますので、来学の必要はありません。オンライン口述試験の詳細については、「各入学試験における専攻ごとの注意事項」をご確認ください。(社会人特別入試：14～15ページ、外国人留学生特別入試：44～45ページ)

Master's Program of Biobased Materials Science: As the oral examination will be conducted online, you do not need to come to the Matsugasaki Campus of KIT. For more information on the oral examination, see 'Cautions for each Master's Program'.

(Working Adult Applicants: pages 14-15, International Student Applicants: pages 44-45)

### (2) 受験についての注意 Examination Precautions

#### 1) 持参物 What to bring

試験には、次の物を持参してください。Bring the following items to the examination

- ① インターネット出願システムより印刷した受験票  
Examination ticket printed from the internet application system
- ② 筆記用具 (HB 程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム)  
Writing utensils (HB type pencils or mechanical pencils, plastic eraser)
- ③ 時計 (携帯電話や計時以外の機能が付いた機器を、時計として使用することはできません。)  
Clock (Note: mobile phones or devices with functions other than a timer, may not be used as clocks)

※試験中机の上に置けるもの

受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆キャップ、鉛筆削り (カッターナイフ、電動式及び大型のものは不可)、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー (中身のみ袋から取り出したもの)、目薬、マスク

★Items allowed on the desk during the exam:

Admission ticket, graphite pencils, mechanical pencils, eraser, pencil cap, pencil sharpener (a small knife, electric and large-sized sharpeners are not allowed.), watch, eyeglasses, handkerchief, tissue paper (without its case/box), eye drops, mask.

- ④ 「各入学試験における専攻ごとの注意事項」で指定されたものを準備しておいてください  
(社会人特別入試：14 ページ、外国人留学生特別入試：43 ページ)  
Prepare the Items specified in 'Cautions for each Master's Program'.  
(Applicants for Working Adults: page 14, for International Students : page 43)

#### 2) 受験上の留意事項 Notes on the examination

- ① 受験生は、試験の当日、インターネット出願システムより印刷した受験票を持参し、試験監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、紛失した場合または忘れた場合は、入試課へ申し出てください。  
Examinees must present the examination tickets that they have printed from the internet application system on the examination day and must follow the proctor's directions.  
Examinees without their examination tickets may not be allowed to take the examination. If you have lost or failed to bring your examination ticket, inform the Admissions Office.
- ② 試験当日は、各科目の試験開始 15 分前までに所定の試験室または口述試験控室に入り、自分の受験番号の席に着いてください。  
On the day of the examination, examinees should enter the designated examination room or the oral examination waiting room 15 minutes before the start of each specific examination subject and be seated at the desk with your examinee number.
- ③ 試験開始後、20 分以上遅刻して所定の試験室または口述試験控室に到着した場合は、受験することができません。

Examinees who arrive at the designated examination room or the oral examination waiting room 20 minutes or later after the scheduled starting time, will not be allowed to take the examination.

- ④ 指定の科目等を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。

Examinees who do not take ALL of the designated subjects are disqualified and will not be permitted to take the examination again at a later date.

- ⑤ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、または監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じ、受験を無効とします。なお、合格後、入学後に不正行為が判明した場合でも、遡って合格及び入学を取り消すことがあります。

Examinees who act, or are deemed to have acted, dishonestly or who do not comply with the instructions of the examination proctors, will be commanded to immediately stop taking the examination and their results invalidated. Moreover, if such fraudulent behavior is uncovered after admission, it could result in the retroactive cancellation of acceptance and enrollment, even after an applicant has successfully passed the examination.

- ⑥ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に入試課に申し出てください。

Examinees who are physically unable to take the examination in the designated examination room should consult the Admissions Office in advance.

- ⑦ 試験当日、大学到着後に体調不良が発生した場合は、入試課または試験監督者に申し出てください。なお、症状によっては受験を認めない場合があります。

On the day of the examination, if you feel unwell after arriving at the university, inform the admission office or an examination proctor. Note that depending on your symptoms, you may not be allowed to take the examination.

- ⑧ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われる場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が、次の試験時間の遅刻限度 20 分を経過した場合は、当該学力検査科目の受験も認めません。

If you become ill during the examination and cannot continue, inform the examination proctor of your condition and follow his/her/their instructions. You may come back to the examination room if you feel better after resting at the KIT clinic. Note that no extension of the examination time will be allowed. In addition, if you are more than 20 minutes late for the next examination subject, you will not be allowed to take the next examination.

- ⑨ 試験中に水分補給をしたい場合は、試験監督者の許可を得た上で行ってください。

If you wish to drink water during the examination, first, request permission from an examination proctor.

- ⑩ 試験中、携帯電話・その他の電子機器・腕時計のアラーム音などが発生しても、試験の再実施や時間の延長などの対応はいたしません。

The examination will not be repeated and time will not be extended, even in the event that a sound such as an alarm from a mobile phone, other electronic devices or wristwatch occurs during testing.

- ⑪ 口述試験においては、控室での待機が長時間になる場合がありますので、持参した飲み物の飲用及び試験監督者から許可を得た一般書物（小説など）を読んでも構いません。なお、試験中及び口述試験の待機時を含めて、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・タブレット端末などの通信機器は使用できません。

During oral examination, you may be required to stay in the waiting room for a prolonged time. During the wait, you may drink beverages you have brought with you and after obtaining permission from a proctor, read a book (such as a novel). However, both during the examination and while waiting for your oral examination time slot, no communication devices such as mobile phones, smartphones, smartwatches, or tablets may be used.

### 3) 禁止事項 Don'ts

- ① 試験中は、前述「1）持参物」中の※で記載したもの、並びに試験監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。ただし、受験上の配慮申請を事前に行い、許可されたものは置くことができます。

Examinees must not place anything on the desks, except for their examination tickets, the items in (1) “★Items allowed on the desk during the exam” above and/or other items mentioned by the examination proctor. Exception: you may place items on the desk for which you have advance permission for special needs accommodations.

- ② 計時以外の機能が付いた時計及び計算機能等がついた文房具の持込を禁止します。

Clocks with functions other than a timer and writing implements with calculation functions etc. are not allowed on the examination desk.

- ③ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバン等の中にしまっておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。

All mobile phones and devices that emit sound should be turned off and placed inside your bag before you enter the examination room. Mobile phones are not allowed to be used as clocks. If your clock has an alarm function it must be turned off so that it does not ring.

- ④ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着用いただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。

Examinees must not wear clothing on which numerical formulas and/or any other symbols are printed. If such clothing is discovered, the examinee concerned may be asked to wear the clothing inside out. Zabuton (sitting cushions) and lap robes are allowed provided they too have no printed numerical formulas and/or any other symbols.

- ⑤ 試験室内では入室から退室まで（休憩時間を除く）、事前に許可されている場合を除き、飲食（ガム・あめなどを含む）は禁止です。

Eating and drinking (including gum and candy) inside the examination room is not allowed from the time you enter the room until the time you exit (excluding break time), unless permitted in advance.

- ⑥ 試験開始以降、試験室を退室するまで（休憩時間を除く）、試験当日に各専攻から貸与される物品や、事前に許可された場合を除いて、携帯電話やその他の電子機器（オーディオプレーヤー・パソコン・ゲーム機・電子辞書など）は使用できません。なお、イヤホンは、使用の有無にかかわらず、耳に装着していれば、不正行為とします。

The use of mobile phones and other electronic devices (audio players, computers, game devices, electronic dictionaries, etc.) is not allowed from the beginning of the examination until the time you leave the examination room (excluding break time). The only exceptions are the use of items for which you have advance permission and those provided by each major on the examination day. Additionally, wearing earphones, whether in use or not, will be considered a breach of conduct.

- ⑦ 事前に許可されている場合を除き、各建物のエレベーターの使用を禁止します。

Unless you have advance permission, the use of elevators is prohibited in all buildings.

#### 4) その他 Other

- ① 試験当日に、交通機関の遅延等により試験開始時刻の変更等がある場合は、本学ホームページでお知らせします。

<https://www.kit.ac.jp/>

If, on the day of the examination, there is a change in the starting time due to delays in transportation etc., we will inform you via the KIT homepage.

<https://www.kit.ac.jp/>

- ② その他、受験について不明な点があれば、入試課に問い合わせてください。

If you have any other questions regarding the examination, contact the Admissions Office.

## 2 合格発表 Announcement of Successful Applicants

次の日時に合格者の受験番号を本学のホームページ ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) で発表します。なお、合格通知書は、合格通知サイト (WEB システム) からダウンロードしてください。合格通知サイトへのアクセス方法は、合格発表時に上記 URL にてお知らせします。

The examinee numbers of successful applicants are scheduled to be posted on the KIT admission information webpage ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) on the dates below. Successful applicants should download their acceptance notifications from the "Acceptance Notification webpage." Information on accessing the website will be provided at the URL above at the time the successful applicants are announced.

社会人特別入試 Working Adults:	4月入学 April admission	2026年12月16日(水) 17時予定 Scheduled for 16 December 2026 (Wed), 5:00 pm
	秋入学 Fall admission Term I	2026年7月15日(水) 17時予定 Scheduled for 15 July 2026 (Wed), 5:00 pm
	秋入学 Fall admission Term II	2026年9月2日(水) 17時予定 Scheduled for 2 September 2026 (Wed), 5:00 pm
外国人留学生特別入試 International Students:	4月入学 April admission	2026年12月16日(水) 17時予定 Scheduled for 16 December 2026 (Wed), 5:00 pm
	秋入学 Fall admission Term I	2026年7月15日(水) 17時予定 Scheduled for 15 July 2026 (Wed), 5:00 pm
	秋入学 Fall admission Term II	2026年9月2日(水) 17時予定 Scheduled for 2 September 2026 (Wed), 5:00 pm

### 3 入学手続 Enrollment Procedures

合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続書類は  
 本学ホームページ ([https://www.kit.ac.jp/test\\_index/successfulapplicants/](https://www.kit.ac.jp/test_index/successfulapplicants/)) からダウンロードしてください。

Successful examinees should complete enrollment procedures on the following dates and times. Note that enrollment documents can be downloaded from our website: [https://www.kit.ac.jp/test\\_index/successfulapplicants/](https://www.kit.ac.jp/test_index/successfulapplicants/).

社会人特別入試 Working Adults:	4月入学 April admission	2027年2月11日(木)から2月17日(水)(17時必着)まで Enrollment forms must arrive at KIT between 11 February 2027 (Thu) and 17 February 2027 (Wed), and no later than 5:00 pm, on the final day.
	秋入学 Fall admission Term I	2026年7月21日(火)から7月27日(月)(17時必着)まで Enrollment forms must arrive at KIT between 21 July 2026 (Tue) and 27 July 2026 (Mon), and no later than 5:00 pm, on the final day.
	秋入学 Fall admission Term II	2026年9月4日(金)から9月10日(木)(17時必着)まで Enrollment forms must arrive at KIT between 4 September 2026 (Fri) and 10 September 2026 (Thu), and no later than 5:00 pm, on the final day.
外国人留学生特別入試 International Students:	4月入学 April admission	2027年2月11日(木)から2月17日(水)(17時必着)まで Enrollment forms must arrive at KIT between 11 February 2027 (Thu) and 17 February 2027 (Wed), and no later than 5:00 pm, on the final day.
	秋入学 Fall admission Term I	2026年7月21日(火)から7月27日(月)(17時必着)まで Enrollment forms must arrive at KIT between 21 July 2026 (Tue) and 27 July 2026 (Mon), and no later than 5:00 pm, on the final day.
	秋入学 Fall admission Term II	2026年9月4日(金)から9月10日(木)(17時必着)まで Enrollment forms must arrive at KIT between 4 September 2026 (Fri) and 10 September 2026 (Thu), and no later than 5:00 pm, on the final day.

### 4 入学に要する経費 Admission Fees

- (1) 入学料 282,000円  
Admission fee: 282,000 JPY
- (2) 授業料 267,900円(半期) 535,800円(年額)  
Tuition: 267,900 JPY (bi-annually), 535,800 JPY (annually)
- (3) 学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料

2年間の保険料 2,430円(予定)

Personal accident insurance and liability insurance for each student pursuing education and research.

Insurance fee for 2 years: 2,430 JPY (estimated)

① 入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。

The admission fee and tuition are subject to change.

② 入学料の納入は、入学手続き時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。

Payments of the admission fee must be made at the time of enrollment. In cases where the admission and tuition fees are revised at the time of enrollment, the new fees will apply. If the tuition fee is revised while students are enrolled at KIT, the new tuition fee will apply from the time of revision.

③ 授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の二期に区分して行います。納入月は、前期は4月、後期は10月で、それぞれの期において納入する額は、年額の二分の一に相当する額です。

Tuition must be paid in two equal payments, one in the first semester and the other in the second semester. The first semester payment must be in April and the second, in October. The amount paid for each semester must be equivalent to half of the annual amount.

④ その他、必要に応じて納入する諸経費があります。

Students may be charged for various additional expenses as the need arises.

⑤ 納入方法等の詳細については、入学手続き書類にて案内します。

Payment method information will be provided in enrollment documents.

⑥ 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

Once paid, the admission fee cannot be returned, for any reason.

⑦ 入学手続き時に入学に要する経費を納入した後で、2027年3月31日(水)17時(秋入学の場合は2026年9月24日(木)17時)までに入学を辞退した場合は、申し出により入学料以外を返還します。返還の方法については学務課学務企画係〔TEL(075)724-7133〕へ問い合わせてください。

If students withdraw from KIT by 5:00 pm 31 March 2027 (Wed) (5:00 pm 24 September 2026 (Thu) for fall admissions) after having made the related payments at the time of enrollment, the equivalent amount, excluding the admission fee, will be refunded upon request. For refunds, contact the Educational Affairs Office. Phone +81-75-724-7133.

## 5 入学料・授業料の免除等制度 Admission and tuition fee exemption system

入学料・授業料の納入が経済的理由により困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、願い出により選考のうえ、入学料・授業料の全額または一部を免除もしくは入学料・授業料の徴収が猶予される制度があります。

2027年度前期分(秋入学は2026年度後期分)の授業料免除の申請方法は、外国人留学生(在留資格が「留学」の人、及び本学入学時までに「留学」の在留資格を取得する人)とそれ以外の人とで次のとおり異なります。詳細は、学生支援・社会連携課経済支援係〔TEL(075)724-7143 E-mail: shogaku@jim.kit.ac.jp〕へ問い合わせてください。

In cases where student finances make admission fees and/or tuition payment difficult and the student is recognized as a high academic achiever, the student may apply to be exempted from paying a part or all of the fee/tuition and/or to receive a fee/tuition payment postponement. Exemption/postponement decisions will be based on the relevant application and screening.

The application processes are different for first semester 2027 (and for the second semester of 2026, for fall admissions) international students (those whose resident status is “student” or those who obtain “student” status by the time of enrollment) and all other students. For more information, inquire at the Student Support and Community Outreach Office, Financial Support. (Phone : +81-75-724-7143. E-mail: shogaku@jim.kit.ac.jp)

### ■ 2027年度前期分(秋入学は2026年度後期分)の授業料免除の申請方法

Application process for 2027 first semester (spring) tuition exemption (for students entering in the 2026 second (fall) semester)

(1) 外国人留学生(在留資格が「留学」の人、または本学に入学するまでに「留学」の資格を取得する人)のうち、下記のいずれかに該当する人

Eligible persons are international students (those whose resident status is “student” or those who obtain a “student” status by the time of enrollment) who fall under either of the following categories:

- ・私費外国人留学生 Privately funded international students
- ・出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人、またはその申請をする予定のある人も含まれます）

Students who are government funded international students at the time of application, but may become privately funded students when enrolled at KIT (This includes international students applying for, or intending to apply for a government funding extension.)

出願書類と一緒に申請を受け付けます。なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

Applications should be submitted with the other admission application documents. Applications for tuition exemption will not influence examination results in any way.

#### ① 申請期間 Application period

入試の出願期間に、「② 申請書類」を出願書類と一緒に提出してください。出願期間後の申請は受け付けません。（社会人特別入試：2 ページ、外国人留学生特別入試：19 ページ『出願期間』を参照）

Submit “② Application documents” with the other admission application documents within the application period. No applications will be accepted after the application period.

Refer to “Application Period” on page 2 for Working Adults, 19 for International Students).

#### ② 申請書類 Application documents

- ・授業料免除申請書類一式（本学所定様式）

本学ホームページ ([https://www.kit.ac.jp/en/prospective\\_student/life\\_fee/](https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/)) よりダウンロードしてください。

- ・The set of documents for tuition exemption (KIT forms) can be downloaded from the KIT webpage. ([https://www.kit.ac.jp/en/prospective\\_student/life\\_fee/](https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/)) .

#### ③ 選考結果の通知 Notification of Results

合格発表日に、合格通知サイトから免除選考結果通知書をダウンロードしてください。

On the day examination results are announced, successful applicants should download the notice of the result for their tuition exemption application.

#### (2) 上記(1)以外の人 Students other than (1) above

入学手続後に申請を受け付けます（申請受付日は2027年3月（秋入学は2026年9月）の予定）。

申請方法は、入学手続書類で確認してください。

Examination applications should be submitted after enrollment procedures are finished (March 2027 (September 2026 for fall admissions)). As for the application process, see the enrollment documents.

## 6 安全保障輸出管理

### Important Communication about Security Export Control in Japan

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人京都工芸繊維大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供や研究者・学生の受け入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当するおそれのある場合は、本学から経済産業省への許可申請が必要となり、すぐに教育研究活動ができない場合があります。また、本学からの許可申請について、経済産業省が不許可とした場合は、希望する教育研究内容の変更を求められる場合や、結果的に本学での教育研究活動ができない場合があります。

【参考】経済産業省 URL：<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

本件に関する本学問い合わせ先 研究推進・産学連携課 [ken-apply@jim.kit.ac.jp](mailto:ken-apply@jim.kit.ac.jp)

Security Export Control is implemented in Japan for the purpose of maintaining peace and safety in Japan as well as in the international community. It is based on the FEFTA (Foreign Exchange and Foreign Trade Act) under international export control regimes. We conduct strict screening before approving technology or accepting researchers/students.

We are obligated to apply to the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI) in the event researcher/student acceptance or a technology may infringe on any of the Foreign Exchange and Foreign Trade Law regulations.

For this reason, you may not be able to immediately begin your intended educational and/or research activities.

In addition, be aware that if METI fails to approve an application we submit, you may be asked to change the content of your intended education and research, or you may not be able to conduct your education and research activities at KIT as a result.

For more information, please visit the following website <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

Research Promotion and Collaboration Office [ken-apply@jim.kit.ac.jp](mailto:ken-apply@jim.kit.ac.jp)

## よくあるご質問 F A Q

Q 1 : 希望指導教員と連絡を取りたいのですが、連絡先を教えてください。

A : 大学院入試最新情報 ([https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php)) ページ右上の「教員一覧 (研究内容等)」に、博士前期課程 (修士課程)、博士後期課程で指導を行う各教員の研究テーマと、事前相談フォームのURLを掲載していますので、同フォームから連絡してください。

Q1: I would like to get in touch with a prospective supervisor, where can I find his/her/their contact information?

A: Faculty research topic information is available online at the KIT webpage shown below. Use this information to select and contact a prospective supervising professor to request that he/she/they oversee your master's or doctoral program study. Access the "Announcements (Master's Program, Doctoral Program)" page: [https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs\\_news.php](https://ac.web.kit.ac.jp/02/gs_news.php) and click on "Master's Program" or "Doctoral Program" at the upper right of the page (in the orange box) to see the "List of Academic Staff." You can also find the URL of "Online form Prospective Supervisor Research Content Consultations," contact our faculty member using the online form..



Q 2 : 学力検査科目「外国語」において、筆記試験に代えてTOEIC公式認定証のスコアにより評価が行われる専攻へ出願したいのですが、TOEIC Listening & Readingのスコアを持っていません。

代わりにTOEFLやIELTS等のスコアを提出できますか。

A : TOEFLやIELTS等のスコアは認められません。また、カレッジTOEIC等の団体特別受験制度 (IPテスト) も、スコアの公式認定証が発行されないため、同テストによるスコアは認めません。必ず、TOEIC 公開テストを受験し、TOEIC Listening & Readingのデジタル公式認定証を提出してください。TOEICスコアの有効期限は、TOEIC受験日 (公式認定証に明記されている年月日) が、出願期間の最終日から遡って、2年以内です。なお、博士前期課程 (修士課程) 社会人特別入試及び外国人留学生特別入試において、「主として英語による教育を行う大学を卒業した、もしくは、卒業見込みである」受験生に対しては、学力検査科目「外国語」を課さない場合があります。詳細については、社会人特別入試については5ページの「8 選抜方法」、外国人留学生特別入試については24ページの「9 選抜方法」を参照してください。

Q2: I would like to apply to a major that evaluates applicants based on their TOEIC Listening & Reading score instead of their written test in the Foreign Language section of the Academic Proficiency Test.

May I submit TOEFL or IELTS scores instead?

A: Scores from TOEFL, IELTS, etc. are not accepted. Scores from the College TOEIC or other special group examination system (IP test) are not accepted either, as no official score certificate is issued. Be sure to submit a TOEIC Listening & Reading Digital Official Score Certificate. Be aware that the Official TOEIC score must be from a test taken within two years of the final day of the admission application period. In the Special Entrance Examination for Adults and the Special Entrance Examination for International Students for the Master's Degree Program, the "Foreign Language" requirement may not apply to applicants who have graduated from or are expected to graduate from a university where courses are primarily conducted in English.

Refer to section 8, "Selection Method," on page 5, for the Special Entrance Examination for Working Adults or section 9, "Selection Method," on page 24, for the Special Entrance Examination for International Students.

Q 3 : TOEICを受験し、スコア票を持っていますが、「Official Score Certificate」ではなく、「Score Report」と記載されています。「Score Report」の提出でも構いませんか。

A : 「Score Report」は、出願書類として認めることはできません。

TOEIC Listening & Readingデジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate、プリントアウトしたも

の)を提出してください。

なお、出願時にTOEIC公式認定証を提出できない方は、出願を受理できません。

Q3 : I have taken a TOEIC test before and have a score sheet, but it says “Score Report” instead of “Digital Official Score Certificate.” Is it acceptable as an application document?

A : NO. A “Score Report” is not an acceptable application document.

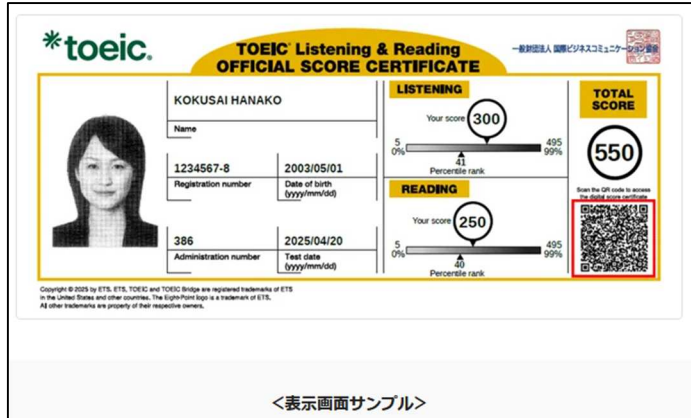
Applicants must submit their Digital Official Score Certificate (printout).

Note that your **application will not be accepted** if you cannot submit an Official TOEIC certificate at the time of application.

○ 出願書類として受け付けできるもの

Acceptable as an application document

TOEIC デジタル公式認定証 Digital Official Score Certificate



<表示画面サンプル>

一般社団法人国際ビジネスコミュニケーション協会  
ホームページより引用

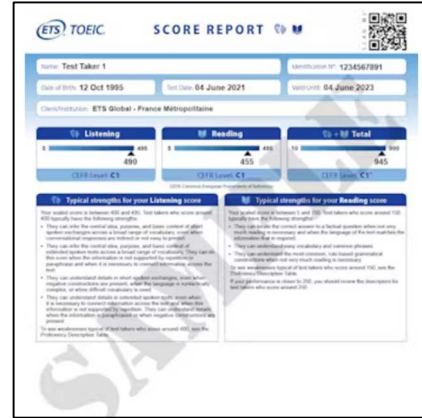
Sample from the Institute for International Business Communication  
Communication (IIBC) website

<https://www.iibc-global.org/iibc/press/2025/p285.html>

× 出願書類として受け付けできないものの一例

**UNACCEPTABLE** as an application document

スコアレポート Score Report



ETS Global ホームページより引用

Sample from the ETS Global website

<https://www.etsglobal.org/fr/en/content/institutional-and-public-programmes>

Q4 : 海外から直接出願する予定です。海外から郵送する場合、出願期間内に出願書類の原本が、大学に届かないおそれがあります。その場合はどうしたらよいですか。

A : 海外から直接出願する場合、書類郵送に時間がかかるので、出願書類の送付は以下の手順で進めてください。

- (1) 出願期間内にインターネット出願システムに入力し検定料をお支払いください。
- (2) 出願書類をそろえてスキャンしてください。
- (3) スキャンしたデータを出願期間内にinnyushi@kit.ac.jpに送ってください。
- (4) 入試課がデータを確認し、不備がなければ仮受付の連絡をメールでいたします。
- (5) メールを受け取りましたら、急ぎ国際郵便で出願書類（原本）を送ってください。  
(仮受付の場合、出願期間を過ぎて書類が到着しても大丈夫です。)

Q4: I am planning to apply directly from overseas. I fear my application documents may not be delivered within the application period. What should I do in this case ?

A: Sending documents by postal mail takes time. Be sure to follow steps 1 – 5 below.

- (1) Enter your information online during the application period (try to do this on the first day of the application period).
- (2) Prepare all the documents you need to post and scan them (make a digital copy). Make sure you have obtained all the necessary documents other than the application form in advance.
- (3) Send the scanned data from (2) above to us by e-mail to the e-mail address below during the application period (the sooner the better!). e-mail: innyushi@kit.ac.jp
- (4) The Admissions Office will check the scanned data you provide. If all your documents are correct and complete, we will tentatively accept your application at that point. After that, we will send you an email confirming “tentative receipt.”
- (5) Send the original documents by postal mail as soon as possible after receiving that email. As your application will have been tentatively processed, you will not be penalized if your hardcopy originals arrive after the last day of the application period.

## 問い合わせ先 Inquiries

### ○大学院入試全般について **General inquiries on graduate admissions**

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 京都工芸繊維大学

1 Hashikami-cho Matsugasaki Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 Japan Kyoto Institute of Technology

入試課大学院入試係 Admissions Office, Graduate Admissions

TEL: 075-724-7162 Phone: +81-75-724-7162 e-mail: innyushi@kit.ac.jp

◆ 入試課へお問い合わせの際には、受験希望の入試について下記の情報をできるだけ詳細にお知らせください。  
また、出願後のお問い合わせについては、必ず受験票に記載されている「受験番号」をお知らせ願います。

- 修士課程、博士課程
- 「入試種別」（推薦、自己推薦、一般、社会人、外国人留学生）
- 「入試区分」（4月入学、秋入学（第Ⅰ期、第Ⅱ期））
- 「志望専攻」

When contacting the Admissions Office, provide as much of the information below as possible, regarding the entrance examination you wish to take. If you have any questions after you have applied, be sure to provide us with your examinee number and tell us which of the following apply to you

- \* Master's Course or Doctoral Course
- \* Type of Entrance Examination (Recommendation, Self-recommendation, General, Adult, International Student)
- \* Entrance Examination Category (April Admission or Fall Admission (1st and 2nd term))
- \* Your major

### ○入学手続について **Inquiries on enrollment procedures**

学務課学務企画係 Educational Affairs Office, Educational Coordination

TEL : 075-724-7133 Phone : +81-75-724-7133 e-mail: gakumu@jim.kit.ac.jp

### ○入学金・授業料の免除制度及び奨学金制度について

#### **Inquiries on admission fees and/or the tuition exemption system and scholarship system**

##### **a: 入学金・授業料の免除制度について **Inquiries on registration and the tuition fee exemption system****

学生支援・社会連携課経済支援係 Student Support and Community Outreach Office, Financial Support

TEL : 075-724-7143 Phone : +81-75-724-7143 e-mail : shogaku@jim.kit.ac.jp

##### **b: 奨学金制度について **Inquiries on the scholarship system****

学生支援・社会連携課経済支援係 Student Support and Community Outreach Office, Financial Support

TEL : 075-724-7143 Phone : +81-75-724-7143 e-mail : shogaku@jim.kit.ac.jp

##### **c: 外国人留学生向け奨学金制度について **Inquiries on the scholarship system for international students****

国際課留学生係 International Affairs Office, Student Exchange Services

TEL : 075-724-7132 Phone : +81-75-724-7132 e-mail: ses@jim.kit.ac.jp

### ○安全保障輸出管理について **Security Export Control in Japan**

研究推進・産学連携課 Research Promotion and Collaboration Office

e-mail : ken-apply@jim.kit.ac.jp